事	務事	業名	理科大交流	たによ	る人	才確保	市内	定着促進	事業				1	事業期間	平成	23	~		年度	整理番号	04030320
担	3 当 音	『署	産業経済	邹		商	に課			工業労	政係		1	作成担当:	者名	小	平	昌	紀	連絡先	433
			プラン! 6 位置づ!		政:	策体	系	政 策 施 策 細 施 策	06 01	第4章第6節技術者	を雇用	の確保	と人材	やすく、						Ŋ	
ı	3	笛	事業名	- 44	H == +#	古書		事務事業	01	諏訪果	、泉埋科	大学タ	と流によ	る人材			_			百01日	01 主要 02
Ē	事	務事	事 業 名 事業の概 事業の概 またがりゃすく	諏	的支援 方東京		学の	学生が地	元企業々	∖就職し	していた	ただけ	るよう、	理科大						項 01 目 定着促進 者	01 事業 03 を図る 。
			と 背 景うして)	20 to 1				より身近 業を行っ										۱۶. :	定着促	進を図るだ	:め理科大と
F	目	対象	受益者 (誰のために 対象 (直接働きかける	諏				生、市内生、市内	•												
	的	(どん	意図		撃後、地元企業に就職及び市内定着の促進 学訪問、就職ガイダンス、インターンシップ等を通じて、優秀な学生を企業に紹介し企業と学生とのマッチングを向 定着を図る。																
L	手(・ 方 法	ŧ.				ダンス、	インタ-	ーンシッ	ップ等で	を通じ [・]	て、優	秀な学生	を企業	集に紹介	介しゴ	主業と!	学生と	のマッチン	ッグを向上さ
			行政活動(の結果	からつ	つくりか	ごすも	のは何?	指	標	名	称	単 位	算出方法	法・計	算式	目標	票値設	定の考	きえ方など	最終目標値
N	1 評	活動	理科大諏	访地域	内就	載者数			諏訪均	地域内就	t職者 數	枚	人	就職者	数						70
	価指標	指標	就職ガイ	ダンス	開催	枚			就職力	ガイダン	ノス開催	崔数		開催数							5
,	停の作成	成果指	成果理科大諏		793	-11	は	何 ?	指諏訪場	標地域内象			単位人	算出方:	-	計算式	・目根	票値設	定の考	きえ方など	最終目標値 70
		標	就職ガイ	ダンス	参加者				理科ブ	大生参加	□者数		人	参加者数	数						

	IJ		目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	Inli.		(a)	円					
	財	国 庫 支 出	金	円					
	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
	訳	その他特定財	源	円					
44.		一般 財	源	円					
施	職	正規職	員	ᄉ					
	員	嘱託職	員	ᄉ					
	数	臨 時 職	員	ᄉ					
状	∞ Х	合 + 各 / * \	計	人					
-	<u>X</u>		数 (b)						
-	<u>火</u> 自		(b)	円	_	_	_	_	
況	5		額	円					
276				円	_	_	_	_	_
	i		目標		80	80	70	70	70
		諏訪地域内就職者数	実績	人	43	29	35	26	35
$\widehat{}$	活		達成率	%	53. 75	36. 25	50.00	37. 14	50. 00
	山制		目標	<u> </u>				5	5
	動指	就職ガイダンス開催数	実績					5	5
D	標		達成率	%	_	_	_	100.00	100. 00
	尓		目標	_					
		_	実績						
_			達成率	%	_	_	_	_	-
0	ct;		目標	人	80	80	70 35	70	70 35
	八田 田	諏訪地域内就職者数	実績達成率	%	43 53, 75	29 36, 25	50, 00		50, 00
	成果指		目標	9/0	53. /5	30. 23	30. 00	37. 14	50.00
$\overline{}$	担標	理科大生参加者数	実績	人					
	尓	全11八工 シルロ 以	達成率	%	_	_	_	_	
	備	新たに就職ガイダンス開			V 里指標をガイダンス	への理科大牛の参加	者数を設ける。		
	4倍	data and a dample of the said of the			AND THE PROPERTY OF THE PARTY O				

	当部		大交流によ	る人科			化准字		# 24 Th 15			事業期間			~		要理番号	
担		者 连来	圣済部		商コ	- 誄			業労政係			作成担当	百石石	小	平	昌 紀	連絡先	433
	期			目標						€ 績						課	題	
四	第 1 期	•事業展開	の方法等の	の検討										・大学、	茅野市			【係機関と連 うる。
半期	第 2 期	•事業実施	に係る要	胃等の核	食討									•大学、	茅野市			係機関と連 5る。
# : :	第 3 期	-事業実施	に係る要	胃等の核	食討								・大学、	茅野市			係機関と連 る。	
٢	第 4 期	•事業実施	に係る要	胃等の核	食討		٠.	ンターン				制定					I係機関と連 「必要である。	
Ø								4		評	個	5						
	当年	丰度開始後	と、約6ヶ	月が経	<u>過し、</u>	新たに生	Eじた問	題点や環	環境の変化	_ ⇔ .		拡 3	仓		2		⑤	7
Arte											果 ^{······}	現状維持	寺		3		⑥ レ	9
管											÷	縮	<u></u>		4		8	10
		新年!	度の実施詞	+ 画 • -	多 質 亜	少 車佰	(改革	. 改善等	:)	- 1	同				•		•	U
理	イン		プ促進事業						.)		性	休 廃 」		D				
										向			•		咸 縮			
										性	/				スト	・投	人の方	向 性
		评価年度		当年度														
	初		妥	当	ı	生	,	有 3		効	率	性		総	合 評 個	新 判 定		
郭	評価	の観点	1 2	3	4	判定	1	2 3	3 4	判定	1	2	3	4	判定			
äŤ	チ	ェック				4				4					4		Α	
価	課	務対策協	が、市内企 機会及び関 るまちづく	係部署	と連携	隻し、市F	内企業を									記 号 B:	とが適当 事業の進め	事業を進めるこ ちに改善が必要 内容・実施主体 公典
О	題															義 D: 前年度	事業の統合、 討が必要 総合評価判	休・廃止の検 定 B
	Н	b)		-	Adr			Fac:				·m	44-	A	.		価シート整理	
Н	総	押私士生	H が の中には、 を 理科 +	市内に	策	評したかのま	生が方式	価	前のことに	生 抽		の由に	施 + =	カニジ	-	評か企業が	価 左左せるけ	後 知らない学生
Е		もいるの	じ、埋作の	C III C	, , , ,	トエドリリリ	アルカオ	Lするはん L業をPI	ス等を実施	טן ע	いるの	で、理	料大を	通じて.	学生	向けの市	内企業をP	R等を実施す
	合	ることに	より、市内	企業へ	の就職	載、定住る	を図る。			5	ことに	より、ī	市内企	業への	就職、!	定住を図	る。	
С	評																	
ĸ																		
J	価	 	度 改 革	. _⊐	菲 华	:	佐 中	:p		<u> </u>	i 年	细长与	生 表示 人	# <i>I</i> +>	1+ Z -	今後のこ	左向 桝 一	
改		<u> </u>			策	評		価	前	FI.			施	ய IC の 労				後
改革	今		-	E.	朿							## 2		Я	٠.	評	価	按
	後	果	広 充			2	5		7		<u> </u>		₹				レ	
改善	の	の ¹	見状維持			3	6	レ	9	(D	現状維持	手					
	方	方 向	宿 小			4	8)	110	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	方 句	縮!	ļ\					
の方向	向	Let .	木 廃 止	1								休廃」	Ł					
性				皆	減	縮	小 玛	見状維持	拡	₹.	_			皆 沪	或 縮	小	現状維持	拡大
~	性		W We I I AL II		コス				向 性	بے		W W- !	- I			ト投り	の方	向 性
A	改		労務対策協 ターンシッ		10-4 10-10-10	機関と連接 学家施して			の企業訪問 る機会を認	1+ +	150	労務対象		会等関係	サカマ	と連携し 施し市内	の企業を知	の企業訪問事 る機会を設け
Т	革・	て、理科:	大生が市内						7	、理科	大生が	市内企	業への	就職、	定住がで	きるまちづ	くりを目指	
I	· 改	す。								3	•							
0 N	善善																	
5	策																	
最終	終評	■ 本 ■ 本											長				上 田	佳 秋

事	務事ӭ	集名	労務対策共	司事	業(関係	₹機関・	企業と	の連	隽強化	事業)				事業期間	甲成		~		年度	整理番	号	04030322
担	当部	署	産業経済部			商工語	Ŗ.			工業労	政係			作成担当	4者名	小	平	昌	紀	連絡	先	433
	市	民	プランに	_	TL //r	4 5	政施	策		第4章 第6節				きやすく オの育成		てみた	とい縁	のまち	づく	IJ		
			位置づけ	有	政策	体糸	細が事務			労働力 関係機				金化事業								
Ħ	予	算	事 業 名	就労	支援事	業			l.						会計	コード	001	款	05 []]	項 01	目	01 事業 03
画	(簡	務事	業の概要 _{わかりやすく)}																			学訪問や労 進をしてい
			と背景うして)	たこ																る。こうし 積極的に展		
(目	対	受益者																			
P		象	対象 (直接働きかける)																			
	的	(どん	意図(な状態にしたいか)									施する	ことに	より関係	系機関 (との連	揚がと	:れ、3	 为果的	な雇用	対策	が図れる。
A	手()		方法やって)	· 大 · 労	要な労務対策を茅野市労務対策協議会と共同実施することにより関係機関との連携がとれ、効果的な雇用対策が図れ 野市労務対策協議会と共同負担し事業を行う。 大学訪問、資料提供(企業PR及び合同就職説明会周知)(100,000円) 労務対策セミナーの開催(ビジネスマナー研修、人事・労務セミナー)(100,000円) 新入社員歓迎大会の事業企画等(100,000円)																	
			行政活動の	結果7	からつく	くりだす	ものは	は何?	指	標		称	単 位	算出方	法・言	†算式	・目標	票値設	定の考	きえ方な	`ど	最終目標値
N		活動	大学訪問に	よる1	企業PF	?等			校数	へのす			校									600
	価指標	指標	労務対策の	共同	PR				労働で数	ミミナー	- 楽円:	直知	社									50
_	の作	成	成果	•	効・	果は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	5法・言	+算式	目標	票値設	定の考	きえ方な	こど:	最終目標値
	成	果指	企業への就	職相	談実績				企業力 者数	ライダン	ノス等	参加	人									500
		標	労務対策セ	ミナー	一の開作	Ĕ			労働セ	ミナー	参加	者数	人									100

	Į		目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度事業計画(予算)
	=	71 20 3	(a)	円	302, 000	300, 000	300, 000	300, 000	300, 000
	財	国庫支出	金	円					
	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
	訳	その他特定財	源	円					
		一般財	源	円	302, 000	300, 000	300, 000	300, 000	300, 000
施	職	正規職	員	ᄉ	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
	員	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	人	0.04	0.04		0.01	0.04
状		合 - * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	計	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
	7		数 /(-)						
	又 <u>È</u>		(b)	円	_	_	_	_	_
		単 <u>位 コ ス ト (a)/</u> 受 益 者 負 担	(b) 額	円	_	_		_	
況		▼ 毎 貝 担 市民一人当たりのコス		円	5, 00	5, 00	5, 00	5. 00	7, 00
-			目標		600	600	600	600	600
		大学等への資料提供延	実績	校	580	600	600	600	000
$\overline{}$	Ħ	校数	達成率	%	96, 67	100, 00	100, 00	100, 00	_
	活		目標	4.1	50	50	50	50	50
	動	労働セミナー案内通知	実績	社	50	50	50	50	
_		数	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	_
D	標		目標						
		_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
0		企業ガイダンス等参加	目標	거	600	500	500	500	500
	ルス	世来ガイノンスサ ン 加 者数	実績		580	503	426	460	500
	果		達成率	%	96. 67	100. 60	85. 20	92. 00	100.00
	指		目標	人	100	100	100	100	100
	標	労働セミナー参加者数	実績		100	67	118	116	100
			達成率	%	100. 00	67. 00	118. 00	116. 00	100. 00
	備								
	考								
	有								

			5務対5 主業経済		業(関		員・企業 □課	との	車携強化	事業) 工業労i	政係			事業期 作成担			~ · 平		年度	整理番号 連絡先	04030322 433
	期				目標						実	注 績							課	題	
四	第 1 期	茅野市	市労務	対策協議	会と連	携を図	り事業	実施	1回(参 2回(参	域合同 加企業 加企業8 スマナー	101社(· I5社(う	うち市 ち市内	内23 122社	社) 学生 :) 学生5	87名				乗協議会。 《必要。	と連携し、学	生へのPR仕
半期	第 2 期	茅野市	市労務	対策協議	会と連	携を図	り事業	実施		域合同家加企業									策協議会。 『必要。	と連携し、学	生へのPR仕
₹ 1J	第 3 期	茅野市	市労務	対策協議	会と連	携を図	り事業	実施		者向け 業研究 83名				11社(うち	市内1				策協議会。 ベ必要。	と連携し、学	生へのPR仕
٤	第 4 期	茅野市	市労務対	対策協議	会と連	携を図	り事業	実施	4回(参 5回(参	域合同院 加企業 加企業 用関係	107社([·] 31社(う	うち市	内26 内8社	社) 学生	150名				乗協議会。 ベ必要。	と連携し、学	生へのPR仕
Ø		<u></u>	111.46	A1 -			±= 1 .			事	中	評		価							
									た問題点 日の変			今	成 果	拡	充			2		5	7
管	生と	:もに戸	悪いか	く見らえた	た。しか	しなが	ら、ゆる	らやかな	は景気回	復により		後	不 の	現状維	辪			3		⑥ ▶	9
_	増な	よどから	6企業の)人材確	保は急	勝とな	ってき	ていると	考えられ	16.		の	方	縮	小			4		8	10
理									革・改善			方	向 性	休廃	止	1	·····				
									ひとつて 期間となる			向	-			皆	減	縮	小	現状維持	拡大
	きま	野市	分務対 分		を支援				図り積を			性	_	/			ス	 	· 投 入		向 性
		評価年	度	1	当年度																
		見点		妥	当		性		有	効	性			効	卒		性		総合	合評 個	i判定
評		面の観 ェック		2	3	4	判定 4	1	2	3	4	判定 4		2	3	4	判:			Α	
									の就職を											計画どおり事 とが適当	業を進めるこ
価	課	要がない。就理	ある。 戦者の	労務や人	事管理	上につい	ハても、	セミ	労務対策 ナーを開										号 B: 3 の C: 3	事業の進めた	うに改善が必要 日容・実施主体 公要
~	題	。新 ・新	入社員	の接遇な <mark>欧迎大会</mark>	こでは	国事業所	, 听数及(受かめ び参加:	る。 者数の増	加に努	める。								義 D:	事業の統合、 対が必要	休・廃止の検
С	咫																			総合評価判:	
			ψm		_	Arte		-	har.	-				4m	44-		Adr			シート整理都	
н	総	= th.t	知り からの1	が 企業、基		策		評 <u>ていく</u>	価 人材を確	前 保 する		1 .	わ.か	細らの企業	施	野市の	策 産業を	相-	評っていく	価 材を確保	後 することは重
E	_	要な	果題では	あり、弓	き続き	: 労務	対策協調	養会と	連携し労			し要	な課	題であり	り、引き	き続き	労務対	策划	品議会と通	重携し労務:	対策を果たし
С		((()	、必安/	U 00 9 .	_ U) =	き来がさ	米/こり1	文計は、	大きい。				615	必安かの	99.	_ の争:	未が米	:/= 9	ト役割はス	(20%	
	評																				
K	価																				
)		前	年 度	改革	• 改	善第	きの 🤄	実 施	状 況		_	前	〕年.	度 細 施	策 評	価にる	おける	る 4	後の方	i 向性	
改	今		細	拼	Ē	策	i	評	価	前	Ì			細	施		策		評	価	後
革・	· 後	成	拡	充			2		5	7			戓	拡	充						
改		果の	現物	犬維持			3		⑥ Ⅰ	و ر		_	果 の	現状維	持					レ	
善の	の +	方	縮	小			4		8	10			方	縮	小						
方向	方	自性	休	 廃 止	1)					J			句 	休廃	<u>т</u> ь						
向性	向				皆	減	縮	小	現状維	持が	<u> </u>		-	نا <i>دا</i> ۱۱۰		皆	減	縮	小	現状維持	拡大
Э.	性					コ "ス			りの								コス	۲	投入	の方	向 性
A	改	さら	こ連携、	情報収	集につ	ことめ、	事業	推進し	ていく。					保に向け業推進を			劦譿会	زع	連携し、個	秀な人材	の採用につと
C	革											(۵)	•	木1比准 2	L 124 0 0						
I	· 改																				
0 Z	善																				
C	策																				
最終	冬評	価年	月日	平成29	年5月1	19日	最 終	評価	五 責 任	者				商工	課長					L H	佳 秋
一个 小	- HI	/	. –		/1		T	#1 IF	. , ,												<u> </u>

事務	孙	名	中高年齡者就	就職	確保事	業									事業期間	平成		~		年度	整理番	号	04030323
担当	当部	署	産業経済部			商	工課				工業党	分政係	ŧ.		作成担当	者名	小	平	昌	紀	連絡	先	433
			プランに 位置づけ	有	政贸	策 体	系	施細施		06 02		市 雇 力確保	用の確と雇用	保と人 対策	きやすく、 材の育成	訪れ	てみた	とい続	のま	ちづく	ا ا		
計	予	算	事業名	就党	 支援	事業		事務	事業	02	中高年	F齢者	就職確	保事業		会計	コード	00	1 款	05	項 01	目	01 事業 03
画	事利(簡:	多事 ※にお	· 業の概要 ph かりゃすく)	と市内に対	た。 に事 して	業所で 奨励会	を有す 全を交	る事 E付し	業主 ないる	が市内I 5。ま	間」に に居住 た、本 度から	する! 年度:	中高年書	冷者 (4!	5歳以上65	歳未満	 (i) を	1年	を超え	雇用して雇用	た場合	に交 合に	付すること 、事業主 Dち、奨励
			と 背 景うして)	本人	くに働	く意名	次や創	き力が	あって	ても年	齢を理	曲に	動く機会	会が制限	されやす	いとし	う状	況にで	ある。				
(目	対	受益者 (誰のために)							手齢者	等												
P	-	象	対象(直接働きかける)	雇田	内に事業所を有する事業主で、市内に居住する中高年齢者を雇用したもの 年齢満45歳以上満55歳未満の者を雇用した場合 1人につき 1万5,000円 年齢満55歳以上満65歳未満の者を雇用した場合 1人につき 2万円 心身障害者を雇用した場合 1人につき 2万円																		
	的	(どん	意図																				
L A			・ 方 法 やって)																				
			行政活動の約	結果:	からつ	くり	だす	ものは	は何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	・目標	票値設	定のを	きえ方な	: ど:	最終目標値
		活動指標	補助金制度の	の周	知					情報技	是供回	<u>X</u>			広報紙、	НР	での竹	報提	供実	it			2
)	指標の	標	.		41			-		11-			71.		for		Arte In				w = _L ·	10	
	作成	成果指	成 果 中高年齢者等	等の		果を増		们	?	補助:	標 全交付	名 件数		単位件	算出方:	_,		• 目	漂値設	変定のす	きえ万な	12	最終目標値 30
		標																					

		頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
		事業費等	(a)	円	340, 000	285, 000	315, 000	215, 000	1, 650, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	340, 000	285, 000	315, 000	215, 000	1, 650, 000
施	職	正規職	員	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
7/		対象 (者)	数						
		延利用(者)数	(b)		18				
			(b)	円	18, 889	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	6. 00	5. 00	6. 00	4. 00	31.00
			目標		2	2	2	2	2
		情報提供回数	実績		2	2	2	2	
	活		達成率	%	100.00	100.00	100. 00	100.00	_
	動		目標	_					
	動指	_	実績						
D	標		達成率	%	_	_	_	_	_
	गर		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
0	_1;		目標	件	30	30	30	30	30
	成	補助金交付件数	実績		18	15	17	12	20
	果指		達成率	%	60. 00	50. 00	56. 67	40.00	66. 67
$\overline{}$	指		目標	_					
	標	_	実績	0/	_				
			達成率	%		_	_	_	-
	備	平成23年度の人工の減少	さる、雅	1概发与	きかめつたため。				
	考								
	石								

# 子				中高年 産業経	齢者就 済部	職	准保事		工課			I	業労	政係					間 平		小	~ 平	昌	年月紀	^ -	整理番号 連絡先		30323 133
新蔵流用のPR		期				目	標							美	ミ 絹	ŧ								課		<u> </u>		
2 日	四	第 1	制度沒	舌用の	PR						・交付	寸人数	:7名(累計:	7名)		000円)							支活 /	用のPR(の仕方	を検討
# 1	·	2														10,00	00円)								复活儿	用のPR(の仕方	を検討
4 期 製設金文付事務		3														55,00	00円)			市はする	内事: る必要	集所! 更がお	こ対し ある。	し、制度	度活儿	用のPR(の仕方	を検討
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 一般	٤	4													計∶2 1	5,00	00円)								度活儿	用のPR(の仕方	を検討
例像のPRによるものか、制度活用件数が少ない。 後 現状維持 ③ ⑥ ⑥ ⑨ 取 数 年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 方 前性 休廃止 ① 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	o o			11.77	41 -								_			_												
### 第一年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)												退点や	塓境() 変化	今			7	充			Ç	2)		5		7	レ
## 新年度の実施計画 - 予算要求事項 (改革・改善策) - 子育で女性の雇用に対し要励金の交付を制度化したので、制度活用のPR を実施する。また、子育で女性の雇用に続き交付金の交付は、平成29年度	管	46.3	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,			1977,500	,,,,,,,,	, 3 ,7,7	J 10.0	•				後	の	玙	状維	持			C	3)		6		9	
新年度の実施計画・予算要求率項(改革・改善策)															の			Ì	小			(4)		8		10	
	理	_													方			廃	止	1								
### 1 2 3 4 判定		を実	施する	5。ま	た、子育	TC3	女性の	雇用	に係る	交付金	の交付	で、制度 tは、P	支沽月 F成29	flのPR 9年度	向					皆	浉	支	縮	小	現	状維持	拡	大
視点 安 当 性 有 効 性 効 率 性 総 合 評 価 判 定		から	となる	ので.	制度0	り運り	用につ	いて	長善を	心がけ	る。				性					=	-	ス	۲	投	入	の方	向	性
視点 安 当 性 有 効 性 効 率 性 総 合 評 価 判 定			ia he h	- rês		NI/	Ar etc		1																			
		_			177				肿		+		热	ıН				劫	750	7	州			4/ \(\)	<u>~</u>	<u>=</u>	· 41	+
チェック 1				D観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 1 ック 4 4 4 4 4 の事業が中高年齢者の雇用に結び付くように、市内企業にPRしていく必要は動金の対象者について、中高年齢者以外に拡大していくことも必要と考える																			?	心		計加	l +'J	止
	評			D観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 ック 4 4 の事業が中高年齢者の雇用に結び付くように、市内企業にPRしていく 励金の対象者について、中高年齢者以外に拡大していくことも必要と考																						Α		
日本の			チェック 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4														: A			業を進	めるこ							
The content of th	価	チェック 4 4 4 4 課課 「この事業が中高年齢者の雇用に結び付くように、市内企業にPRしていく必要がある。要別金の対象者について、中高年齢者以外に拡大していくことも必要と考える。H29年度より子育で女性に係る要励金の交付が開始されるので、申請等の審査に留意して制度の運用をする。 記号 課課 「係る要励金の交付が開始されるので、申請等の審査に留意して制度の運用をする。 日記 本書の進め方に改善が必定表記 類別 「本書の表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表																										
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本		T																										
前年度総合評価判定 A 向403020 向4 向403020 向4 向4 向403020 向4 向4 向4 向4 向4 向4 向4 向		この事業が中高年齢者の雇用に結び付くように、市内企業にPRしていく必要がある。 奨励金の対象者について、中高年齢者以外に拡大していくことも必要と考える。H29年度より子育て女性に 係る奨励金の交付が開始されるので、申請等の審査に留意して制度の運用をする。 A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業機・内容・実施主体 の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の権 計が必要 前年度総合評価判定														企の検												
##	С	~_																										
#助実績は多くないが、中高年齢者を雇用する企業の支援にもつながっている。	н																		拡		4	F						030208
		総																										つな
C	E															パつ	ている	5.										
Max Ma	С																											
価		評																										
改革・・		価																										
中 ・ 改善 ・ 改善 ② ⑤ ⑦ 成 拡 充 □ <)		前	年 度	飞 改 章	¥ ·	• 改	善贫	策の	実 施	状	況	実	施済	Ī	前年	F度糺	細施	策 評	価に	お	ける	今	後のこ	方向	性		
**	改	今		細		施		策		評	ſ	西	育	Ī			細		施		策	ŧ	i	評		価	後	
改	#			拉	充	5			2		(5)		7				扣	<u></u>	充									レ
方 向 権 小 ④ ⑧ ⑪ 方 向 性 休 廃 止 ① 性 休 廃 止 ① 性 休 廃 止 ⑤ 性 休 廃 止 ⑤ 性 休 廃 止 ⑤ 性 休 廃 止 ⑤ 性 休 廃 止 ⑥ 性 休 廃 止 ⑥ 性 ★ 廃 止 ⑥ 性 ★ 廃 止 ⑥ は は は は は は は は は は は は は は は は は は	改			玥	状維持	ŧ			3		6	レ	9				玛	見状維	持									
	香の		方	縮	小	`			4		8		110				新	首	小									
世 性 皆 減 縮 小 現状維持 拡 大 皆 減 縮 小 現状維持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性 コ ス ト な れ カ の な は か は か は か は か は か は か は か は か は か は	方		1.7	休	、廃 止		1)										17	ト 廃	止									
性 コスト投入の方向性 コスト投入の方向性 コスト投入の方向性 コスト投入の方向性 コスト投入の方向性 コスト投入の方向性 コスト投入の方向性 当事業の内容を企業に周知する。 人口減少における労働力の確保として、女性の活躍が期待される。本事業を拡充し、特に子育て期の女性の雇用促進を図る。 第業を拡充し、特に子育て期の女性の雇用促進を図る。								減	縮	小	現場	犬維持	扩		F					뱜	洞	ţ	縮	//\	現	状維持	拡	大
C 本	Н	性				ı				-						_	_				⊐ "	ス		-				
T	A		当事	美の内	容を介	業	に周失	ロする。	•						1	事	業の内臓小り	内容をこれけ	企業!	こ周が	印するの確保	5。 まとり	.T	女性	のき	課が出	きさわ	る. 本
O 改 数 善		革													4	業	を拡き	ŧŪ.	特に	子育	で期の)女	生の	雇用促	進を	図る。	13 C 40	₩ o 🗥
。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		· 改																										
策	O N	善																										
最終評価年日日 平成20年5日10日 最終評価責任者 商工理트 □ 日 日 知	J																						_		_			
X № 11	最終	冬評	価年	月日	平成	29±	₹5月1	19日	最系	冬 評	価 責	任者	者					商工製	果長						上	Ħ	佳	秋

事系	务事業	Ě名	求職・就職権	相談	業務充実	実事 業								事業期間] 平成		~		年度	整理番号	04030324
担	当部	署	産業経済部			商工	#			工業労	政係			作成担当	者名	小	平	A	紀	連絡先	433
			プランに 位置づけ	有	政策	体系	施細が		06 02	第6節 労働力	確保	用の確保と雇用さ	保と人 対策	きやすく 材の育成 ************************************		てみた	:い緑	のまち	づく	ŋ	
計	로.	笛	事業名	송산	 支援事	*	事務	争耒	03	水順 '	別収	相談業	防兀夫	争来	스타	コード	001	生々	05	項 01 目	01 事業 03
画	事	務 事	alle a low are	労が市を	が力の確 设置され で含めて	保と雇 ていな 6か所	い市町 設置さ	村にお れてい	いて、	職業村	目談・	を設置し ・職業紹 『市、千	介等を		目談をす	た実す	る。 地	域職	業相談	室は、公	01 事業 03 共職業安定所 内には茅野
			と背景うして)		く景気 年度か								労働力	の確保と	≝雇用対	対策を	幅広し	事業	を行う	必要があ	3.
^	目	対	受益者		は者及び は者及び																
P		象	対象 (直接働きかける)		職・就職相談窓口を設置し、相談体制を充実させ、求職・就職を支援する。 域職業相談室を設置と相談室にかかる事務費を支援する。 熱水費(325,000円)																
	的	(どん	意図 はな状態にしたいか)		域職業相談室を設置と相談室にかかる事務費を支援する。 熱水費(325,000円) 信費(電話代等) (180,000円)																
L A			方法やって)	光熱信電影	域職業相談室を設置と相談室にかかる事務費を支援する。 熱水費(325,000円)																
			行政活動の約	結果:	からつく	くりだす	ものに	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	†算式	• 目標	標値設	定の≉	きえ方など	最終目標値
N	評	活動指	求職者情報の	の周	知				情報提	是供回数	ţ			広報紙	、ホー	- ムペ-	-ジ等	で情報	提供	実績	12
	指標	招標																			
	の作	成	成果	•	効!	果は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	†算式	目標	票値設	定の≉	きえ方など	最終目標値
	成	果指	地域相談室(の活	用者数				年間相	目談者费	ţ		人								8, 000
		標																			

								平成28年度(予算	平成29年度						
		頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	又は決算額)	事業計画 (予算)						
		事業費等	(a)	円	144, 387	187, 589	1, 285, 353	1, 269, 586	1, 342, 000						
	財	国庫支出	金	円											
実	源	県 支 出 地 方	金	円											
	内		債	円											
		その他特定財	源	円											
	訳	一 般 財	源	円	144, 387	187, 589	1, 285, 353	1, 269, 586	1, 342, 000						
施	職	正規職	員	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01						
	員	嘱 託 職	員	人											
	数	臨 時 職	員	人											
状		合	計	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01						
-	2		数												
			(b)												
	<u>í</u>	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(b)		_	_	_	_	_						
況		受益者負担	額	円											
		市民一人当たりのコス		田	3. 00	3. 00	23.00	23. 00	26. 00						
		Jahr den den det ern det.	目標		12	12	12	12	12						
		情報提供回數							_						
	活	情報提供回数 実績 12 12 12 12 12 12 12 1													
	動														
	指	-		0.4											
D	標		達成率	%	-	-	-	-	_						
	IV.		目標	_											
			実績達成率	0/	_	_	_	_	_						
				%	15, 000	15, 000	8, 000	8, 000	8, 000						
0	成	年間相談者数	目標 実績	人	14, 436	8, 532	8, 823	7, 572	8, 000						
	甲	平间怕談有数	達成率	%	96, 24	56. 88	110, 29	94, 65	100, 00						
	果指		目標	70	30. 24	50.00	110. 29	94. 00	100.00						
)	招標	_	実績	_											
	尓		達成率	%	_	_	-	_	_						
		・市民プラン (030403)			- 携事業とも連携										
	備	・H24年度中途から職員	は大学の	安定的	から派遣										
	考	・H26年度から、年間相				は 字字 者 数) • H274	年度からベルビア2階	きへ移転							
	.,	ことである。いて「本意味	1 IIX II X	\-v- y- -x		U/A 2 1 3A/	TO 00 00 C 7 E P	A 1274							

				尤職相談	業務充	実事	ŧ								業期間		戉	~		年度		040	030324
担	当 部	署産	業経済	宇部		商	[課			工業	労政係			竹	成担当	者名	小	平		紀	連絡先		433
	期			E	目 標							実 糸	青							課	題		
四	第 1 期	職業相	談室(の運営支					・相談者	f数:の	· ・ベ1766			5月)						<u>ьк</u>	KES		
半期	第 2 期	職業相	談室(の運営支	援				▪相談者	f数:の	べ1597	名(7)]-(9月)(累	計:33	63名)							
₹ †J	第 3 期	職業相	談室(の運営支	援				•相談者 名)	f数:の	ンベ2067 	名(10	月-	-12月)	(累計:	5430							
٤	第 4 期	職業相	談室(の運営支	援				•相談者 名)	f数∶σ	o べ2142	名(1)]-:	3月)(夏	限計:75	72							
_o										事	中	1	Ŧ	価									
•									と問題点			上今	月		3 3	Ť		(2		⑤	7	
									ら利用者				身		111-84-	±		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	3				
管				≦も高水: 後件数は				かしな	がら、景	気の人	「升基調	後		′	状維持			'	<u> </u>		⑥ レ	9	
	,,,	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	·	X11 3X.0			•					の	げん		§ /	\		(4		8	10	
理									革・改善			方	性		· 廃 」	L C	D						
埋									ない市間 同で運		-			皆	減	縮	小	現状維持	拡				
				けっきてい								/				нн -		、の方		性			
											_				ス	٢	女 ハ	. 0) /3	向	注			
	1	評価年	度	1	1																		
	裑	見点		妥	当		性		有		効	率	i	生		総合	合 評 個	5 判	定				
-	評価	面の観点	<u></u> 1	2	3	4	判定	1	2	Ē	1	2	3	4	判员	Ē							
評	チ	ェック					4								4			Α					
価(C	課	広く行 た、相	う必 談室(隻 は、	更性があ ひさらな	27年 によ	きかられる利用され	相談室 者増を	・就職者 の移転し 図る。 >してい	移を注	視する	必要7	がある	。ま	少 	記号 B: の定義 D: 前年度系	計画どの表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表	ちに改き 内容・第 必要 休・原	善が必要 実施主体					
н			細	抗	E	策		評	価		前			細		施		策		評	価	後	
	総	月平均	730人	の相談	者があ	<u>ار ب</u>	年度よ	り活用	者が増	加して	こいるこ										∓と比較し		
Е	合	から、	看実	こ活用者	への支	機に	つなが・	ってい	6 .												として地域 29年度かり		
С												5	豆解	するこ	ことをお	たし	た。し	かし	なが	ら、相談	炎者の就職	に結び	がついて
	評													と考え	えられる	5ので	、着身	に活	用者	への就	戦支援につ	ながっ	ってい
K	J-17-											[*	5.										
J	価	前右	F 度	改革	• 改	善等	きの :	実施	状 況		_	-	前:	年度名	细施等	評品	15 にょ	; It Z	5 今	後の方	5 向 性		
改	^		細	拼	Ę.	策		評	価		前			細		施		策		評	価	後	
革	今 "	成	拡	充			2		5		7		成	扣	<u></u>	5							
改	後	果		 犬維持	·		3				9		果		記状維持						l.		
善	の	の方					ļ			i			の方										
6	方	向	縮	小	ļ		4		8		10		向	新	計 小	`				<u> </u>			
方向	向	性	休	廃 止	1								性	t/	ト 廃 山	=							
性	性	-			小	現状維		大					皆	減	縮	小	現状維持	拡	大				
~		コスト投入の方向往													<u> </u>	- 44		ス	<u>ا</u>		、の 方		
ACTIOZ)	改革・改善策	数、支 ・ 改 善													と継続す		<u>くり、</u>	地域:	嘅 莱	竹談至(かさらなる	同知に	.72
		₹												商工課·	_					L H		秋	

事務	务事業	業名	ヤングサポー	<u> </u>	事業											事業期間	間 平	成	23	~		年度	整	隆理番号	04	4030325
担:	当 部	署	産業経済部			Ē	与工課	Į.			工事	集労 政	女係			作成担	当者名	3	小	平	A	紀		連絡先		433
			プランに 位置づけ	有	政策	策体	系	施細族		04 06 02	労化	6節 助力和	雇用	の確定用	保と人 対策	きやすぐ 材の育店		れて	てみた	:い緑	のま	ちづく	ij			
計	予	算	事 業 名		支援			事務		04			ナポー			トフロは出			ュード 概念				項	01 目	01	事業 02 ポートセ
画	事為	務事	業の概要 _{わかりやすく)}	ンち	ィーが	実施	する	ジョブ	カフェ	c 信州	によ	る相	談を	毎月1	回開催	し、若年	F無業	者を	きサポ	- -	し就	職、求	職を	を支援し	てい	いる。
			と背景うして)	は、	就職	に対	する	不安を	抱えて	ており	、雇	用に	つな	ぐこと		きの雇用 きていな		呆も	厳しし	ハ状況	?であ	うる 。 す	た	、若年第	業業	者の中に
)	Ш	対	受益者					ト、フト、フ																		
P		象	対象 (直接働きかける)					•		•		•		•												
	的	(どん	意図													っかけと										
L				相談	会の	実施	を広軸	服する	とと :	もに、	関係	機関	と連	美した	ながら、	若年無	業者(の雇	用促剂	隹を図	3 3 .					
A			方法やって)																							
		活	行政活動の網	結果	からっ	oく り	りだす	ものに	は何?	指	村	票	名	称	単位	算出力	方法 ·	計	算式	• 目標	票値討	段定の	考え	方など	最終	終目標値
N	評価	動指																								
	指標	標																								
)	の作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	村	票 :	名	称	単位	算出2	方法 ·	計:	算式	• 目標	票値討	设定の:	考え	方など	最終	終目標値
	成	果指	ジョブカフ	工信	H					キャリアネ	相談	件数			件	面談に	こよる	相談	炎件数	ι						*
		標																								

	Į	頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	-		(a)	円					
	財	国庫支出	金	円					
	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円					
施	職	正規職	員	人					
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人					
1		対象 (者)	数						
			(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
		市民一人当たりのコス		円	-	-	_	-	_
			目標	_					
		_	実績						
	活		達成率	%	_	_	_	_	
	動指		目標	_					
	指	_	実績						
D	標		達成率	%	-	_	_	-	
	IN		目標	_					
		_	実績	0.4					
			達成率	%	_	_		_	_
0	成	キャリア相談件数	目標 実績	件	0 13	0 10	0	0	
	ル田		夫 領 達成率		#DIV/0!	#DIV/0!	2 #DIV/0!	#D1V/01	
	果指			%	#014/0!	#014/0!	#D14/U!	#DIV/0!	_
$\overline{}$	招標		目標実績	_					
	悰	_	達成率	%	_	_	_	_	_
-		*若年無業者に対する事業						_	
	備	で 日十 株 未 日 に 刈り る 争り	* C 90	⊕ ∟ ⊂	ル・つ、 口情 数 胆 改 化 [*]	テは刺木 まないので	又たしない。		
	考								
	7								

担当	ᅏᅔ	に 名 十				于未										事業期	間 平	成	23	~	年	度 整	理番号	040303	
<u></u>	部	署	業総	圣済部	}		商	に課			I	工業労	政係		1	作成担	当者名	3 /	<u>ነ</u> ፯	Z	紀	ì	連絡先	433	
其	钥				E	標							実	績							調	見 題			
第 四 1 期	第 1	相談:	・・・・	開催の						相認	炎者数	1名((累計1:						と関係		自立に	繋が	るような	相談方法 携が必要	
半 第 2 期	2	相談:	ま の	開催の	広報					相談	炎者数	0名(累計14	3)					と関係					相談方法 携が必要	
期分の対象の対象の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	3	相談:	ま の	開催の	広報					相談	炎者数	0名(累計14	3)					と関係					相談方法 携が必要	
第 4 期	4	相談会	≩ の	開催の	広報					相談	炎者数	0名(累計14	3)					と関係					相談方法 携が必要	
о												事	中	評	価	i									
当	当年	F度開	始後	、約	6ヶ)	月が経	過し、	新た	に生じ	た問	題点や	環境の	の変化	今		広	充			2		⑤		7	
														後	果一の現	見状維	持			3		6	V	9	
管														の	¥	宿	小			4		8		10	
		立	4年日	±∧≢	地名	Libi	文 笛 田	北重	T百 /コ	64.	改善统	华)			回					•		•		w	
理		和	1+13	マリ ブ	マル ロ		了开歹	(小尹)	块 (4	以平 1	以古	R /		方	性	木廃	щ	①				<u> </u>			
														向				뱜	減	縮			犬維持	•	大
														性	/			=	. ス	۲	投 .	入の	り方	向 性	
	=	评価年	唐		<u>1</u>	4年度		1																	
	視		Ť		妥	<u>十人</u> 当		<u> </u>		1		効	性			効	率	ξ	性		総	合	評価	判 5	÷
≣ज		の観	点	1 T	2	3	4	判別	Ē	1 [2	3		判定	1	2	1 3	4		定	1/4/25	н	п іш	13 74	_
24		エック						4	_					4						4			Α		
価調																					号 _B :	・サ木い		に改善が	
C C																					定 義 D i	の見ī : 事業(計が) E総合詞	直しが必 の統合、 <u>必要</u> 評価判定	休・廃止(· A	の検
C C			ėт		**		Art:		-		Par.	-	4		· ·	1	+6-				定義 D 前年度訊	の見[: 事業が 計 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	直しが必 の統合、 <u>必要</u> 評価判定 ト整理番	要 休・廃止の <u>?</u> A 号	の検
~ 題		県(ジ	細ョブ		かった。		策の協	カを 復	評		価を終続	前まする		<u>。</u>	(ジョラ		施工信州		策の協力	1	定義 D in 年度計算	の見[: 事業(<u>計が</u> を総合] を概シー	直しが必 の統合、 必要 評価判定 ト整理番	要 休·廃止(子 後	の 核
C C	題 総 合 平	要。	ョブ	カフ	エ信が	₦)かē	の協力		て、柞	目談会	を継続			=	(ジョ: ートな	がカフ どの <mark>落</mark>	ェ信州	l) から 足 進 に	の協;	力を <mark>得</mark> ずるが	定義前年度評年の表現の表現である。	の見で 事業の 計算 を おかり ままかり ままかり ままかり を おから	直の必要価をを表示した。	要 休・廃止の <u>?</u> A 号	の検
	題	要。	ョブ 年 ^原	カフ	ェ 信 が 革	H)から ・ 改	善多		実施	日談会	況	売する	ことが	=	(ジョフ ートな 〕年度	がカファビの雇	ェ信州 開に)から 足 進に 価 に	の協 :つな!	力を <mark>得</mark> ずるが	定義前年を評して必要。	の事計が合語を	直しがら、	要休・廃止(の検
	題	要。 前:	年の種	(カフ)	革施	H)から ・ 改	の協力	₹ の	て、柞	日談会	を継続	売する	ことが	育	(ジョフ ートな] 年度	がカファ どの 配 細 施	策評)から 足 進に 価 に	の協;	力を <mark>得</mark> ずるが	定義前年度評年の表現の表現である。	の事計が合語を	直の必要価をを表示した。	要 休·廃止(子 後	の検
(C H E C K) 改革·	9 8 9 平 5	要。	年月知	<u>ま</u> ひ	革 充	H)から ・ 改	善多	き の	実施	1数会 状 5	況	市	ことが。 i j	市	(ジョンな) 年度 **********************************	があった。 との 配 細 施 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	策評施)から 足 進に 価 に	の協 :つな!	力を <mark>得</mark> ずるが	定義前年を評して必要。	の事計が合語を	直しがら、	要休・廃止(の検
(C H E C K) 改革	題	要。前成果の	年月知	(カフ)	革 充	H)から ・ 改	善多	₹ の	実施	日談会	況	売する	ことが。 i j	育	(ジョン ウト	がカファ どの 配 細 施	策評施)から 足 進に 価 に	の協 :つな!	力を <mark>得</mark> ずるが	定義前年を評して必要。	の事計が合語を	直しがら、	要休・廃止(の検
(C H E C K) 改革・改善の 是 糸 合 評 価 今 後 の ま	頭 総合平面 今後の	要・前成果の方	年月知	ませる と	革 充	H)から ・ 改	善多	き の	実施	1数会 状 5	沢	市	ことが f	育	(ジョ な 年	かった 細胞 エー・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	策評施)から 足 進に 価 に	の協 :つな!	力を <mark>得</mark> ずるが	定義前年を評して必要。	の事計が合語を	直しがら、	要休・廃止(の検
(C H E C K) 改革・改善の方題 総合語 値 今後の方	題 総合平西 今後の方	要。前成果の	すり、おおおり、おおり、おおり、おおり、おおり、おおり、おおり、おおり、おおり、	ませる と	革 施	H)から ・ 改	善多	き の ② ③	実施	5 (6)	沢	前	ことが f	育	ジー 年度 歳	かった 細胞 エー・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	* (信/))から 足 進に 価 に	の協 :つな!	力を <mark>得</mark> ずるが	定義前年を評して必要。	の事計が合語を	直しがら、	要休・廃止(の検
(C H E C K) 改革・改善の方向は	頭 総合平面 今後の方句	要前成果の方向	すり、おおおり、おおり、おおり、おおり、おおり、おおり、おおり、おおり、おおり、	まなります。	革 施	N)から ・ 改 i	善多	き の ② ③	実施	表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表<	沢	育 (7) (10)	で () ()	育	ジー 年度 歳	がとのを描れている。	* (信/))から 足 進に 価 に	の協 :つな!	力を <mark>得</mark> ずるが	定義前年年で必要。	の見業が 手 を を を を を を を を を を を を を	直しがら、	要休・廃止(C) A B B B B B B B B B B B B B B B B B B	の検
(C H E C K) 改革・改善の方題 総合語 値 今後の方	頭 総合平面 今後の方句生	要 前 成果の方向性	すりをおります。	カフ・カフ・カフ・カフ・カフ・カフ・カフ・カフ・カフ・カフ・カフ・カフ・カフ・カ	工 信	· 改 ① 皆	善 第	後の 3 4 縮ト	て、林施かり、投	11数会	で継続 沢価 状維持方	育	う		ジト 年 或果の方向性	があった。一番をは、一番をは、一番をは、一番をは、一番をは、一番をは、一番をは、一番をは、	() () () () () () () () () ()	(i) から 足進 に 皆	が おけ 策	力を 得 するが る 今	定義前年度評して必必後に評して必必を後に評している。	の事が合言: 計総会: 方 向	直の必评トの主義を対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対	要休・廃止(c) A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	の で 、 大
(C H E C K) 改革・改善の方向性(A 題 糸 合 評 価 今 後 の 方 向 性 改	頭 総合平面 今後の方句生女	要 前 成果の方向性 効率	ま 年 知 打 到 糸 ク / なつ	カフ <u>さ</u> は は は は は は は に に に に に に に に に に に に に	工信	・ 改 ・ ひ	善 第	後の 3 4 縮ト	て、林施かり、投	11数会	で継続 沢価 状維持方	育	立とが		ジー 女果の方向生 事な ** がな	がカファー 細土 拡 見状縮 木 方法で	エ信州 策 充 持 小 止 相談	の に と と は に と と は に と と と と と と と と と と と	が おけ 策	力を 得 するが る 今	定義前年度評して必必後に評して必必を後に評している。	の事が合言: 計総会: 方 向	直の必评トの主義を対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対	要休・廃止(c) A B B B B B B B B B B B B B B B B B B	の で 、 大
(C H E C K) 改革・改善の方向性(ACT) と	頭 総合平面 今後の方句生 女革	要 前 成果の方向性	ま 年 知 打 到 糸 ク / なつ	カフ <u>さ</u> は は は は は は は に に に に に に に に に に に に に	工信	・ 改 ・ ひ	善 第	後の 3 4 縮ト	て、林施かり、投	11数会	で継続 沢価 状維持方	育	す))) 大性		ジト 年 或果の方向性	がカファー 細土 拡 見状縮 木 方法で	エ信州 策 充 持 小 止 相談	の に と と は に と と は に と と と と と と と と と と と	が おけ 策	力を 得 するが る 今	定義前年度評して必必後に評して必必を後に評している。	の事が合言: 計総会: 方 向	直の必评トの主義を対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対	要休・廃止(c) A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	の で 、 大
(C H E C K) 改革・改善の方向性(ACTI	題 総合平面 今後の方句生 仮革・	要 前 成果の方向性 効率	ま 年 知 打 到 糸 ク / なつ	カフ <u>さ</u> は は は は は は は に に に に に に に に に に に に に	工信	・ 改 ・ ひ	善 第	後の 3 4 縮ト	て、林施かり、投	11数会	で継続 沢価 状維持方	育	す))) 大性		ジー 女果の方向生 事な ** がな	がカファー 細土 拡 見状縮 木 方法で	エ信州 策 充 持 小 止 相談	の に と と は に と と は に と と と と と と と と と と と	が おけ 策	力を 得 するが る 今	定義前年度評して必必後に評して必必を後に評している。	の事が合言: 計総会: 方 向	直の必评トの主義を対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対	要休・廃止(c) A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	の で 、 大
(C H E C K) 改革・改善の方向性(ACTIO 題 総 合 語 価 含 後 の 方 向 性 改革・改善	頭 総合平面 今後の方句生 20草・20	要 前 成果の方向性 効率	ま 年 知 打 到 糸 ク / なつ	カフ <u>さ</u> は は は は は は は に に に に に に に に に に に に に	工信	・ 改 ・ ひ	善 第	後の 3 4 縮ト	て、林施かり、投	11数会	で継続 沢価 状維持方	育	す))) 大性		ジー 女果の方向生 事な ** がな	がカファー 細土 拡 見状縮 木 方法で	エ信州 策 充 持 小 止 相談	の に と と は に と と は に と と と と と と と と と と と	が おけ 策	力を 得 するが る 今	定義前年度評して必必後に評して必必を後に評している。	の事が合言: 計総会: 方 向	直の必评トの主義を対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対	要休・廃止(c) A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	の で 、 大
(C H E C K) 改革・改善の方向性(ACTION) 題 総合語 価 今後の方向性(ACTION)	題 総 合 平 西 一 今 後 の 方 句 生	要 前 成果の方向性 効率	ま 年 知 打 到 糸 ク / なつ	カフ <u>さ</u> は は は は は は は に に に に に に に に に に に に に	工信	・ 改 ・ ひ	善 第	後の 3 4 縮ト	て、林施かり、投	11数会	で継続 沢価 状維持方	育	す))) 大性		ジー 女果の方向生 事な ** がな	がカファー 細土 拡 見状縮 木 方法で	エ信州 策 充 持 小 止 相談	の に と と は に と と は に と と と と と と と と と と と	が おけ 策	力を 得 するが る 今	定義前年度評して必必後に評して必必を後に評している。	の事が合言: 計総会: 方 向	直の必评トの主義を対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対	要休・廃止(c) A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	の で 、 大
(C H E C K) 改革・改善の方向性(ACTIO 題 総 合 語 価 含 後 の 方 向 性 改革・改善	頭 総 合 平 西 一今 爰 の 与 句 生	要 前 成果の方向性 効事 ***********************************	ョ 年 細 担 野 科 クークを実力	カ <u> </u>	工	・ 改 ・ ひ	善策	を ② ③ ③ ④ 縮ト だい、	で、木 クロス 大 クロス 大 クロス 大 クロス	目談会	で継続 沢価 状維持方	まする 「 「⑦ 「⑨ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	す))) 大性		ジー 女果の方向生 事な ** がな	がカファー 細土 拡 見状縮 木 方法で	工用 策 充持・小・止 相す しまれる	の に と と は に と と は に と と と と と と と と と と と	が おけ 策	力を 得 するが る 今	定義前年度評して必必後に評して必必を後に評している。	の事が合言: 計総会: 方 向	直の必評トの重を整性の重したのでは、大の関係を対したのでは、大の関係を対しています。	要休・廃止(c) A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	の で、 大して

事系	务事業	Ě名	茅野市労務	対策	協議会	補助	金交	付事業	Ę						事業期間	甲原	戈	~		年度	整理番号	04030332
担	当部	署	産業経済部			商	工課				工業的	労政係	Ē.		作成担当	省名	小	平	昌	紀	連絡先	433
	市おり	民 ナる	プランに 位置づけ	有	政策	策 体	系 -	政施 細が 事務・		06 02	第61	節 雇 力確係	展用の配 と雇用	崔保と人 月対策	きやすく 材の育成 助金交付	,	いてみた	とい続	のま	ちづく	Ŋ	
計	予	算	事 業 名						- U	l l						会計	 - -	÷ 00	1 款	05	項 01 目	01 事業 0
画	事	答事	i 業 の 概 要 ^{わかりやすく)}	とた	16.	茅野市	労務	対策	協議会	の活	がは、	ます		様化・ル								こうしたこ 、時勢に合っ
	現 (状ど	と 背 景 うして)	たこ	ことか	続·発 ら、a く必要	きすま	す多	様化、	若手を 広域(含め <i>)</i> と、そ	人材確して	【保は必 めまぐ	沙要不可 るしく♪	欠なもの 進歩するf	であり	リ、重要 に対応	要な力 し、F	ギを持勢に	屋る経 :合っ <i>t</i> :	営戦略とな :求人活動	にる。こうし を積極的に 原
	目	対	受益者			務対領務対領			画企業	ŧ												
Р		象	対象 (直接働きかける)	AF 1	*	40 -75 ±	. 2. 1	++ D#	但北井	定する	2 - 2	(= +>)	Z									
	的	(どん	意図 な状態にしたいか)																			
L A			・ 方 法 やって)			務対象するま		会が	実施す	- る、1	湖 議会	:の連"	雪、 諏	訪地域家	犹職企業 7	ガイド	フック	作成、	,取扩	ī地域 家	机職企業 力	イダンスの名
			行政活動の	結果	からこ	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単位	算出力	法・	計算式	• 目	摽値討	段定の	考え方なと	最終目標值
N		活動指	就職企業ガ	イダ	ンスも	加者	数			ガイタ	インス :	参加等	学生数	人	前年度	の参加	旧者数					426
J	指標の	標																				
	作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標		称	単位	算出方	法・	計算式	• 目	摽値討	段定の	考え方なと	最終目標值
	成	果指標	市内企業へ	の就	職者數	X				市内介 者数	業へ	の新規	見採用	人	前年度	の就理	載者数					146
		ি																				

	Į	頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	1	事業費等	(a)	円	1, 750, 000	1, 750, 000	1, 750, 000	1, 750, 000	1, 750, 000
	財	国庫支出	金	円	.,,,,,,,,	1,100,000	.,,,,,,,,,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1,100,000
実	源	県 支 出	金	円					
		地方	債	円					
	内	その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	1, 750, 000	1, 750, 000	1, 750, 000	1, 750, 000	1, 750, 000
施	職	正 規 職	員	人	0. 03	0. 03	0. 03	0. 03	0. 03
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人	0. 03	0. 03	0. 03	0. 03	0. 03
7/		対象 (者)	数	団体					
			(b)	団体					
			(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	31, 00	31, 00	31.00	32. 00	36. 00
		19 4 49	目標	人	701	584	500	426	460
		ガイダンス参加学生数	実績		584	503	426	460	
	活		達成率	%	83. 31	86. 13	85. 20	107. 98	-
	動指		目標	_					
	指	_	実績達成率	0/	_		_	_	
D	標			%	_	_	_	_	_
	1224	_	目標 実績	_					
		_	達成率	%	_	_	-	_	_
0				70	137	135	151	146	126
O	成	市内企業への新規採用	目標 実績	人	135	151	146	126	126
	里	者数	達成率	%	98. 54	111, 85	96, 69	86, 30	100, 00
	果指		目標	/0	VV. 04	111.00	00.00	00.00	100.00
	標	_	実績	_					
	175		達成率	%	_	_	_	_	_
	/±	成果指標の市内企業就職			人社員歓迎大会の参加	1者数			
	備								
	考								

事務	事				協議会権	前助金3	を付事業						事業	期間 平	成	~	年	度 整	理番号	04030332
担:	当部	署産	業経済	許		商工	果		工業党	的政係			作成	担当者名	小	平	昌 紀	連	絡先	433
	期				■ 標					美	: 績	į					課	題		
四	第 1 期	茅野市事業を		対策協議		きを図り	、実施す	る 2 諏訪 1回(4	日者数15 5地域合 参加企業	迎大会 i8名 21 同就職 ま101社(85社(う	事業月 説明会 うち市	听 ★:2回 i内23	社) 学:	生87名				と連携	し、学生	生及び事業
半期	第 2 期	茅野市 事業を			会と連携	き図り	、実施する	る 1 諏訪 3回(4	5地域合 参加企業	・同就職 養71社(う	説明会	会:1回 内19神	(累計: 注) 学生	3回) E 63名			対策協議会 なPRが		し、学生	生及び事業
u,	第 3 期	茅野市 事業を			会と連携	きを図り	、実施する		上業研究	就職説 会開催			61社(う	ち市内16	茅野市所への	労務対 積極的	対策協議会 なPRが	さき 必要。	し、学	生及び事業
٤	第 4 期	茅野市 事業を			会と連携	き図り	、実施する	9 4回(1	多加企業	就職説 107社(うち市	内26	社) 学	生150名			対策協議会 なPRが		し、学生	上及び事業
Ø									事	中	副	F	価							
								ンた問題点 ト <mark>て積極的</mark>				成	拡	充		2)	⑤		7
管	あり	物対策、さらに	協議 3	大の手来	さ子生が 検討し充	くい す る 実させ	ることによ	り、人材研	iかPKX <mark>崔保が見</mark>	心安で	後	果の	現状			3)	6	レ	9
	る。										の の	方	縮	小		4)	8		10
		新	年度(の実施計	┼画・予	・質要す	文事項 (i	改革・改	盖策)		方	向 性	休月		1		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
理		材の確	保がは	地域経済	の活性化	比、人口	減少対策	のひとつ	であり、			1± -	小月	€ Щ	1)	ь с	<u>.</u> .	 		14.
								期間となり を図り積			向				_ "	咸 統		現状		
	施し	、人材	確保に	マ 姉 藤 五 字 める。	CXIX Y	ا صدد	UI-, 1219	5で四ツ債	加いい	尹未で天	性					スト	> 投 /	入 の	方	向 性
	1	評価年	庻	<u>></u>	当年度															
	祁		Ť	妥	3 	性		有	効	性			効	率	性		総	合 :	平 価	判定
	2	の観点	点 1	2	3		判定	1 2	3	4	判定		1 2	•	1 4 1	判定	ilAC		, јш	13 15
評		ェック		 		-	4	· -	1		4	+			+ + +	4	1		Α	
#	=m	リーマ場の状いる。	ンシ 況で	ョック以 あること	降、最i から学生	丘の円:	安傾向に。 都市部へ	より企業の 集中し、t	の業績に 地方でに	は緩やか は学生等	な回の人	復傾に材確保	句にあ 呆が未	り、学生 だ厳しい	等の売り環境が新	手市	記	とが通	当	業を進めるこ に改善が必要
1111		カイト						に置くな。 効果的な						ようにす	るととも	に、	定	の見直	しが必	容・実施主体 要 休・廃止の根
	題																	討が必		
С																			平価判定	: A 号 0403021:
н			細	拚	F	策	評	価	,	前			細	施	匀	=	評	佰		後
	総	これか						<u></u> く人材を			重労	働人							_	産業を担っ
E	_							役割は大			て	こいく	人材を	確保する	らことは	重要な	課題であ	り、ヺ	う務対策	協議会が男
С	合													さいこと		引き続	さ文法を	762	ともに	、連携しノ
U	評																			
K	ı																			
\cup	価	新 左	F 度	改革	. +LC	新	の実が	年 14 10	1		<u> </u>	介 左	ref 如 +	车等 ====	無 /− +>	1+ Z	今後の	卡卢	性「	
改		ב נים				策				àfr	В	., +.	細		<u> </u>					144
革	今	. 6	細	旅	B.		<u>評</u>	価		前				施	प्र	R.	評	偛	u i	後
•	後	成 果	拡	充			2	⑤	C	<i>D</i>		成 果	拡	充				ļ		
改善	の	の	現場	犬維持		(3)	6	レ(9)		の	現状	維持				<u> </u>	レ	
の	方	方向	縮	小		(4)	8	(1	0		方 向	縮	小						
方	_	性	休	廃止	1							性	休月	港 止						
向性	向	-			皆	減	縮小	現状約	推持	<u></u> 拡 丿	ŧ	-			皆 沪	或 糸	宿 小	現状	は維持	拡大
<u> </u>	性		_					入の			_ _	_					 ト 投 <i>,</i>		方	句 性
A	改	継続し	て事	業を行う	•								確保と						就業支	援事業は有
C	革										3 0.	であ	ること	かり、	でも経	腕して	事業を行	つ。		
I	-,																			
0	改美																			
Z)	善策																			
最終	冬評	価年月	日	平成29	年5月19	日	長終 評	価 責 倍	壬 者				商コ	二課長				上	H	佳 秋

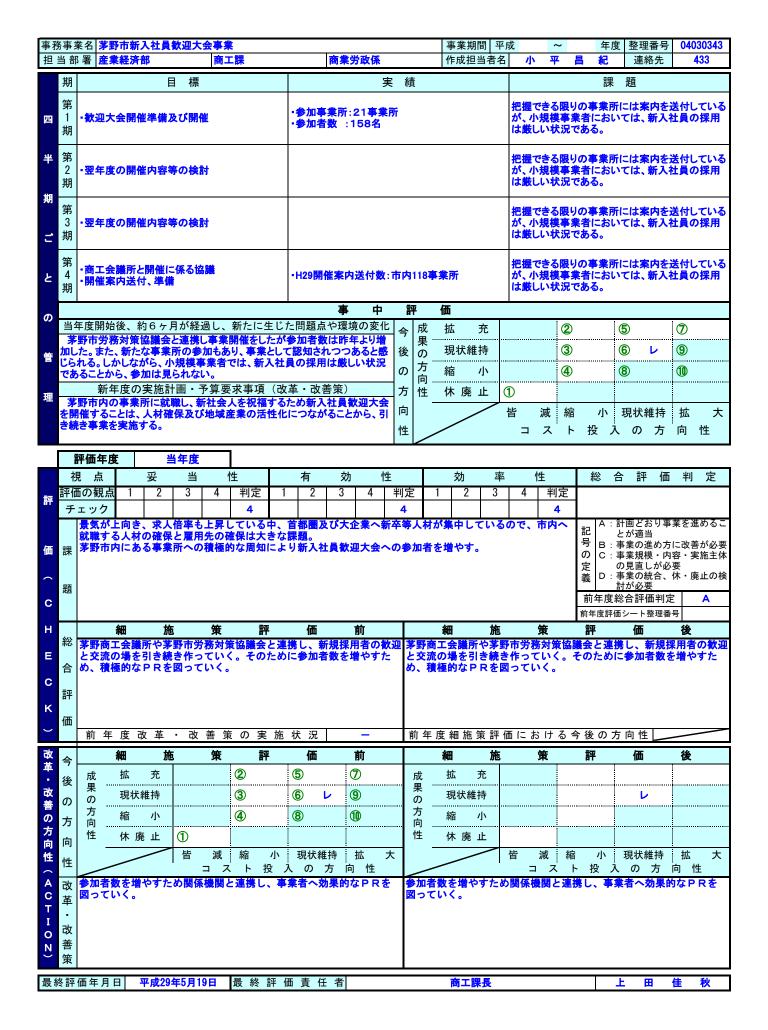
事務	事	集名	インターン	シッ	プ推済	事	集										事業期間	引 平	成	23	~			年度	惠	理	号	040	03033	JT
担:	当部	署	産業経済部			Ī	商工記	果									作成担当	4者名	i	小	平			紀		連絡	先		433	
								政	策	0	4	第41	主 作	きみも	さすく	、働	きやすく	、訪	h.	てみ1	こしい着	最の	まち	づく	IJ					
	市	民.	プランに		_, ,	,		施	策	0	6	第61					材の育成							•	_					
	おり	ける	位置づけ	有	政分	策 14	杀	細	施策	0	2	労働ス	力確化	果と雇	星用女	策														
								事系	务事業	1	0	イン	7— 2	ノシャ	ップ推	進事	業													
計	予	算	事 業 名							•								会	計=	1 — F	° 00)1	款	05	項	01	目	01	事業	03
															め、	事野・	産業振	見プラ	ラザ	にお	いて	希望	企	まとの	7	ッチ	ンク	図り	、卒	業
	事	務 事	業の概要	後の	M MA	正果	一队	順し	ていた	<i>1</i> = <	2 2	דוינגי	~ 9	ூ.																
画	(簡	潔に	わかりやすく)																											
				4二元	-1-+	117	1+	十些 /	+ 体 の	小本			小姑	<u>44c</u> L.	<u>^₩</u> -	5/ +	優秀な。	1 ++ 2	★/早	사스	3/2 L	+> _	71	۱ Z						
	現	状	と背景うして)	111%	いーの		ld.	7 +-	E#W	工座	^ L	U) 1190,	ואע	來 C .	止未	Clas	変形は	∼193 ¥	EIK	か・心	131 C	<i>1</i> 4.5	C	, . . .						
_	(_			A 486																									
	目	対	受益者	市P	企業																									
	П	. •	A	市内	企業																									_
Р		象	対 象 (直接働きかける)																											
۲				大当	生等	の要	望に	沿う。	ような	企業	のマ	゚ッチ	ンゲ	を図	<u>る。</u>															
	的	(どん	意図 のおおり										•		•															
				# 8	. ate	* 15	: (B) -3	'=+f*2	た拠点	L I	•	**	胆生	I- F	ストを	a 大 lit	集し発	<u></u>	<u>.</u>	노±.	17	<u>,,, ∓</u>		ゲた区	1 2					
L				7 =	F - 19E	***	(94)	798	e pem		, <u>II</u>	. * M	IPI TT	1-6	⊘	W C 4X	未し元	97 7	ے د	۵ ک	IC 4	9)	7	/ ~ E	10	•				
			· 方法																											
	(,	どう	やって)																											
Α																														
			行政活動の	結果	からこ) (I	りだす	ナもの	は何?	•	指	標	名	称	i	単位	算出力	ī法 ·	計	算式	• 目	標値	[設]	定の	考え	方	ょど	最終	目標	値
		活	インターン		- 1 24 A	a.企	些 /	<u></u>		224.6	温心	業件	*47			件	登録件	- #47											1	5
N	評	動	1 25-2	,,	ノ豆剪	*11:	* 17 8	*			OK IE	ж п	3 ,			т	豆虾口	30											•	•
	価指	指標																												
	標	IX.																												
)	の		成 果		効		は	何	?		指	標	名	称		単位	算出力	-:± .	÷Τ	哲士		抽体	; =几;	÷ Λ=	* >	++	تا ج	旦然	7 1 1 1 1 1	店店
	作成	成田	.,,					ΊΗJ	·	+			1	孙	`				ĒΙ	昇玌	. н	保心	1 改,	上の1	5 1	. <i>/</i> 3 ′	4 C	取形		
	/~	果指	インターン	シッ	プ受ノ	件	数			受.	入件	·数				件	受入件	-数											1	0
		標			-																									

		頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	1		(a)	円					1, 480, 000
	財	国 庫 支 出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
		地方	債	円					
	内	その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円					1, 480, 000
施	職	正 規 職	員	人					0. 50
	員	嘱託職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人					0. 50
11	Ź		数						
			(b)						
	È	単位 コ ス ト (a)/	(b)	円	_	_	_	_	_
況	5	受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	_	•	_	_	95. 00
			目標	件					15
		登録企業件数	実績	Н					15
	活		達成率	%	_	•	_	_	100.00
	乱		目標	_					
	動指	_	実績						
D	押標		達成率	%	_	-	_	_	-
	悰		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	_	I	_	_	_
0			目標	件					10
	成	受入件数	実績	п					10
	果指		達成率	%	_	-	_	_	100.00
	指		目標	_					
	標	_	実績						
			達成率	%	_	I	_	_	_
	備								
	考								

			/ター:											事業期間			~				_	0403	
	部	署産業	経済	K		商コ	課						ſ	作成担当	4者名	小	平	H	紀	連絡允	先	4	33
1	期			F	標						集	2 績							課	題			
-	-				- 177							- 12.											
	第						14=1													している			
		•事業実	施に同	けた帯	度設	件等の	検討													するのか 要があ		の事:	栗を裕
7	期															שים כיני	ילטאי	い、仮	別の地	安かの	စ .		
317	*															18 1-4			-414- c-1 4-1		. – 1.	4.5	
	第 2	·事業実	体に点	1++-4	() 中記:	4年の:	ich 등는		44 ままで	村の実施	44:口鱼	医细胞	ı							をしている するのか			
	期	****	旭一円	17/20	リ皮似	11 400	IX BY		JE III MI 1	门V大师	311111	F 16 1/2								要があ		<i>∪</i> + :	未飞机
期	ופיל															,		- 1 5					
70 1	第															· (E) (= ±	31.YT	4.同事	業宝성	している	بر د	から	同様
		•事業実	施に向	けた要	基綱策	ŧ			要綱策	定	* America Laborator	n 4 41 - L	- 45 20 4	m.100						するのか			
= !	期					_			職業糸	高校及び	脚肋地	料入	の状況	也挺		介して	いくの	か、検	討の必	要があ	5.		
3	第	. 古卷中	歩に亡	(4+ <u>-</u> =	F 460 Adc c	5			要綱制	定						Aris 40 +8	# *	生元よい	c on Alle	(40 HB /H)	n-t-:	+1	21.7
	4	事業実例規審			(神)果人	E				查委員会						検討す		KIJI IJ.	וועפ	報提供(ובענו	Z I-	ے ، ان
7	期			-					事業所	青報提供	(依賴(HP飛	載及び	罗对瑙银	区親)		•						
										事	中	10	· 任	i									
の	业石	工中目仏	14. 41	16 /	그 사용성도	'B. I	立にナーリー	- # I* -	た問題点								: -					_	
	= 4	干及用妇	1友、亦	107)	日が程	廻し、	初だに	- 生し	に问起点	い現場の	の変化	今	成	ኔ 3	Ť		2		(5	(7	レ
												後	果一切	見状維持	÷		(3)	(6	(9	
管													¥		····								
												の	カ	官 八	<u>ا</u>		4)	(8	(10	
2011									革・改			方		ҟ 廃 ⊥	L (D							
				要綱	も制定に	こ伴い	、新規に	こ予算	を計上し	、積極的	に事	向					+ 0	<u>.</u>	de '	TD J I V V H J	.+	14	
3	表を	実施する	٥.											/	1	皆	咸糸	宿		現状維持		拡	大
												性				⊐	ス	ト 拐	と 入	のフ	ち 1	向	性
	ř	评価年度	Ę	횔	4年度																		
	祷	点		妥	当	ı	生		有	効	性	:		効	率	性		糸	窓 合	評	価	判	定
[平価	面の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定						
34		ェック					4					4					4			Α			
_	•		きからん	の車切	があま	: LI #21		*************************************	・産業扱	調プラ	#* #		车位端4	> 75.7 C =	内心	生みなる		╅	A · Ē	画どおり	」事業	を准	めるこ
		市内企	きの素	か女王	かめる	信し、	大学生	アギ と等に	異味をも	いっても	り、カらら必	要が	ス DD MR 2		I PA IE S	未り.注意	500	記		が適当	, , ,		o, o =
価									企業との									号の		耳業の進& 耳業規模・			
		~~~	P. O. TT.	* 6.10														0)					
$\overline{}$	杯	2/1/1/1	6·8·II.	K C 1L														定					心工件
	<b>n</b> *	XX-31		* C 1L														定義	の D:事	)見直した	が必要	Ē	
7	題	27-71	E-0-11.	K C 1L														義	の D:事	)見直した 業業の統名 計が必要	が必要 含、休	Ē	止の検
C	<b>n</b> *	XX-36		K & 1L														義前	D:事 年度総	見直した 業の統合 対が必要 合評価	が必要 合、休 判定	· 廃	
С	<b>n</b> *				-			=-TT	Par-				do a	n	14-		<b>~</b>	義 前 前年	の D:事 年度総 度評価	)見直した 事業の統合 けが必要 合評価等 シート整理	が必要 合、休 判定 理番号	. 廃	止の検
С	題		細	挽		策		T T	価	į	ti di		¥		施		Ę	義 前 前年	の D:事 主 年度総 度評価	)見直した 業業の統名 対が必要 合評価等 シート整理	が必要ない。 対定 関定 理番号	· 廃	止の検 A
C H	題総	事業のス	細格実	施に向	けて、	策			価 生の把握		ti di	等事	業の本	ト と実施!	こ向け	て、受	入企業	義 前 前年 評 (本)	日 : 事 : 年度総 ・ 度評価 ・ <b>望学生</b>	り見直した 野業が必要 合計が必要 シート整理 の把握	が必要 合、体 判定 理番号	後	止の検 A 方法等
C H E	題総		細格実	施に向	けて、	策					ti di	等 <b>事</b> な	業の本	ト ト実施! 系機関で	  に向け を連携	て、 <b>受</b> を図り	入企業 制度化	義前の新年を表示の	日 : 事 : 年度総 ・ 度評価 ・ <b>望学生</b>	)見直した 業業の統名 対が必要 合評価等 シート整理	が必要 合、体 判定 理番号	後	止の検 A 方法等
C H	題総	事業のス	細格実	施に向	けて、	策					ti di	等 <b>事</b> な	業の本	ト ト実施! 系機関で	  に向け を連携	て、 <b>受</b> を図り	入企業 制度化	義前の新年を表示の	日 : 事 : 年度総 ・ 度評価 ・ <b>望学生</b>	り見直した 野業が必要 合計が必要 シート整理 の把握	が必要 合、体 判定 理番号	後	止の検 A 方法等
C H E C	題総	事業のス	細格実	施に向	けて、	策					ti di	等 <b>事</b> な	業の本	ト ト実施! 系機関で	  に向け を連携	て、 <b>受</b> を図り	入企業 制度化	義前の新年を表示の	日 : 事 : 年度総 ・ 度評価 ・ <b>望学生</b>	り見直した 野業が必要 合計が必要 シート整理 の把握	が必要 合、体 判定 理番号	後	止の検 A 方法等
C H E C	題総合	事業のス	細格実	施に向	けて、	策					ti di	等 <b>事</b> な	業の本	ト ト実施! 系機関で	  に向け を連携	て、 <b>受</b> を図り	入企業 制度化	義前の新年を表示の	日 : 事 : 年度総 ・ 度評価 ・ <b>望学生</b>	り見直した 野業が必要 合計が必要 シート整理 の把握	が必要 合、体 判定 理番号	後	止の検 A 方法等
C H E C K	題総合	事業のス	細格実	施に向	けて、	策					ti di	等 <b>事</b> な	業の本	ト ト実施! 系機関で	  に向け を連携	て、 <b>受</b> を図り	入企業 制度化	義前の新年を表示の	日 : 事 : 年度総 ・ 度評価 ・ <b>望学生</b>	り見直した 野業が必要 合計が必要 シート整理 の把握	が必要 合、体 判定 理番号	後	止の検 A 方法等
C H E C K	題総合評	事業の2 を関係相	<b>細</b> 体格実 機関と	施 (本に向 (食)討し	けて、ていく	<b>策</b> 受入1	<b>主業、</b> 有	<b>帝望学</b>			ti di	等すな定	業の本と、関	格実施! 孫機関? 事業所怕		て、 <b>受</b> を 提供を	入企業 制度化 依頼す	義前の一部によっている。	年度に生まれて、	の見重した会 はおきずが合い評価 は会うシート整 の把握の付 の把握の付	が必要 合、体 判定 理番号	後	止の検 A 方法等
C H E C K )	K 題 総合評価	事業の2を関係を を関係を 前 年	細 格実 襲関と	施 施に向 <b>食</b> 討し	けて、 ていく ・ 改	<b>策</b> 受入1	主業、利	<b>学望学</b> 実施	生の把握	軽等の実	施方法	等すな定	業の本ととし、	格実施!系機関?事業所作	を連携の評価	て、 <b>受</b> を <b>関性を</b> にお	入企業制度(I 依頼す	義前が年にある。	年度評価を受けて、方	の見直した。 事業の統合 対が必要価 シート整理 の把握の の把握の 向性	が合い 料理 等制度 アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・	後夫施計	止の検 A 方法等
C H E C K )	題総合評	事業の2を関係を 前 年	機関となり	施に向く	けて、 ていく ・ 改	<b>策</b> 受入1	と業、名	<b>帝望学</b>	大 況 価	等の実	施方法	等存定	業の本ととし、	格実施(系機関である) 本本 本本 施 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年	を複数の	て、 <b>受</b> を <b>関性を</b> にお	入企業 制度化 依頼す	義前の一部によっている。	年度評価を受けて、方	の見重した会 はおきずが合い評価 は会うシート整 の把握の付 の把握の付	が合い 料理 等制度 アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・	後夫施計	止の検 A 方法等制
C H E C K ) 改革·	K 題 総合評価	事業の2 を関係を 前 年	細 格実 襲関と	施 施に向 <b>食</b> 討し	けて、 ていく ・ 改	<b>策</b> 受入1	主業、利	<b>学望学</b> 実施	大 況 価	軽等の実	施方法	等存定	業の本関いた。	格実施!系機関?事業所作	を複数の	て、 <b>受</b> を <b>関性を</b> にお	入企業制度(I 依頼す	義前が年にある。	年度評価を受けて、方	の見直した。 事業の統合 対が必要価 シート整理 の把握の の把握の 向性	が合い 料理 等制度 アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・	後夫施計	止の検 A 方法等
C H E C K ) 改革·	題 総合評価 今後	事業の2 ・関係を 前 年	機関となり	施 施に向 食計し 工 革 施	けて、 ていく ・ 改	<b>策</b> 受入1	主業、名	<b>学望学</b> 実施	大 況 価	等の実	施方法	等をなった。	<b>業の本関</b> で、し、 年 年 成果	格実施(系機関である) 本本 本本 施 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年	を連載の	て、 <b>受</b> を <b>関性を</b> にお	入企業制度(I 依頼す	義前が年にある。	年度評価を受けて、方	の見直した。 事業の統合 対が必要価 シート整理 の把握の の把握の 向性	が合い 料理 等制度 アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・	後夫施計	止の検 A 方法等制
CHECK)改革·改善	い 題 総 合 評 価 一今後の	事業の2 を関係を 前 年	<b>細水格実</b> と され	施を入るできます。 「一般を表する」 「一般を表する。	けて、 ていく ・ 改	<b>策</b> 受入1	を で で で で で で で で の に で の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に の に の に の に の に の に の に の に の に 。 に に に る に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に に に に に に に に に に に に に	<b>学望学</b> 実施	生の把握 状 況 <b>価</b> ⑤	<b>請答の実</b>	<b>竹</b>	等な定	<b>本関</b> 、	格実施「養養」	を養報の	て、 <b>受</b> を <b>関性を</b> にお	入企業制度(I 依頼す	義前が年にある。	年度評価を受けて、方	の見直した。 事業の統合 対が必要価 シート整理 の把握の の把握の 向性	が合い 料理 等制度 アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・	後夫施計	止の検 A 方法等制
CHECK)改革·改善	題 総合評価 今後	<b>事業の2条</b> 前 成果の方向	を を と は ない は	施 施に向 食計し 工 革 施	けて、 ていく ・ 改	<b>策</b> 受入1	<b>である。</b> (2)	<b>学望学</b> 実施	<b>状</b> 況 <b>価</b>	事の実	<b>竹</b>	等な定	<b>本関</b> 、	格実施[標本] 格	を育報のを評価を	て、 <b>受</b> を <b>関性を</b> にお	入企業制度(I 依頼す	義前が年にある。	年度評価を受けて、方	の見直した。 事業の統合 対が必要価 シート整理 の把握の の把握の 向性	が合い 料理 等制度 アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・	後夫施計	止の検 A 方法等制
CHECK)改革·改善	い 題 総 合 評 価 一今後の方	事を関係を有り、	<b>細水格実</b> と され	施向する	けて、 ていく ・ 改	<b>策</b> 受入1	を で で で で で で で で の に で の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に の に の に の に の に の に の に の に の に 。 に に に る に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に に に に に に に に に に に に に	<b>学望学</b> 実施	生の把握 状 況 <b>価</b> ⑤	<b>請答の実</b>	<b>竹</b>	等な定	<b>本関</b> 、	格実施「養養」	を育報のを評価を	て、 <b>受</b> を <b>関性を</b> にお	入企業制度(I 依頼す	義前が年にある。	年度評価を受けて、方	の見直した。 事業の統合 対が必要価 シート整理 の把握の の把握の 向性	が合い 料理 等制度 アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・アイト・	後夫施計	止の検 A 方法等制
C H E C K ) 改革・改善の方向は	い 題 総合評価 今後の方向	<b>事業の2条</b> 前 成果の方向	を関して、おります。 とのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	施向する	けて、ていく	<b>策</b> 受入1	を で で で で で で で で の に で の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に の に の に の に の に の に の に の に の に 。 に に に る に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に に に に に に に に に に に に に	<b>学望学</b> 実施	生の把握 状 況 <b>価</b> ⑤	<b>書等の実</b>	<b>竹</b> 施方法	等な定	<b>本関</b> 、	格実施[標本] 格	に 一	で、受り <b>提供を</b> を に お	入企業化は、	義前の部への会になる。	の事態に関する。	の見直した。 事業の統合 対が必要価 シート整理 の把握の の把握の 向性	が合い、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本	後夫施計	止の検 A 方法等制
C H E C K ) 改革・改善の方向は	い 題 総 合 評 価 一今後の方	<b>事業の2条</b> 前 成果の方向	を関して、おります。 とのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	施向する	・ 改 ・ 改 「 」	<b>策</b> 受入1。 善策	と業、都 ② ③ ④ 縮	表望学 実施 評 小	大 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	<b>請答</b> (1) (2) (3) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	<b>竹</b> 施 <b>方法</b> (1)	等。存在	<b>本関</b> 、	格実施[標本] 格	に 一	で <b>と と と と と と と と と と と と と と と と と と と</b>	入企館 ける る	義前年評希向。	の事態に対する。	の見直した。 を主が必要 をシートを主 の把握 の把握 の性 の情 の性 の情 の他 の他 の他 の他 の他 の他 の他 の他 の他 の他	がら、関軍等制度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	後大大	止の検 A 方法等制
CHECK)改革・改善の方向性(・	い 題 総 合 評 価   今後の方向性 改	事を 前 成果の方向性 登録制	<b>細格関となる</b> 水 現 縮 休 の確:	施食 革焼 た 掛 小 止 立 立 ・	・ 改 ・ 改 ・ 改 ・ 数 ・ 数	策 受入1 事 策	E の 3	<b>美施</b> か投	<b>大 況 価</b> (5) (6) (8) 現状維	<b>請等の実 前</b> ① ③ ① ① ① ⑤ ① ① ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ②	<b>対施方法</b> (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	等が定に	本関、     有     成果の方向性     制度       (日本)     (日本)	格実施   機関で   株   水   水   水   水   水   水   水   水   水	ことを育報 を きゅう た を きゅう た を きゅう た を きゅう と ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	でを提供を は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できままます。 は、できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	入制技権はは、おおいては、大学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	義前年の評価をはいる。	の事意総価の方面のおります。	の見直した会議が必要にある。 シート 価値 の 把握を の 性	がら、 定号の度に サード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	後奏施計	止の検 A 方法等制 大
C H E C K ) 改革・改善の方向性(A C	い 題 総 合 評 価   今後の方向性改	<b>事を</b> 前 成果の方向性 イーニー	<b>細格関となる</b> 水田 拡 現 縮 休 の確:	施食 革焼 た 掛 小 止 立 立 ・	・ 改 ・ 改 ・ 改 ・ 数 ・ 数	策 受入1 事 策	E の 3	<b>美施</b> か投	大 (別) (面) (多) (8) (8) (9) (7) (7) (8) (7) (7) (8) (7) (8) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	<b>請等の実 前</b> ① ③ ① ① ① ⑤ ① ① ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ②	<b>対施方法</b> (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	等が定に	本内     成果の方向性	格実施   機関で   株   水   水   水   水   水   水   水   水   水	ことを育報 を きゅう た を きゅう た を きゅう た を きゅう と ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	でを提供を は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できままます。 は、できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	入制技権はは、おおいては、大学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	義前年の評価をはいる。	の事意総価の方面のおります。	の見られた。シート 価値 の 世上 現状 維 オ の が が か が か が か か か か か か か か か か か か か	がら、 定号の度に サード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	後奏施計	止の検 A 方法等制 大
C H E C K ) 改革・改善の方向性(ACT	い 題 総 合 評 価   今後の方向性 改	事を 前 成果の方向性 登録制	<b>細格関となる</b> 水田 拡 現 縮 休 の確:	施食 革焼 た 掛 小 止 立 立 ・	・ 改 ・ 改 ・ 改 ・ 数 ・ 数	策 受入1 事 策	E の 3	<b>美施</b> か投	大 (別) (面) (多) (8) (8) (9) (7) (7) (8) (7) (7) (8) (7) (8) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	<b>請等の実 前</b> ① ③ ① ① ① ⑤ ① ① ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ②	<b>対施方法</b> (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	等が定に	本関、     有     成果の方向性     制度       (日本)     (日本)	格実施   機関で   株   水   水   水   水   水   水   水   水   水	ことを育報 を きゅう た を きゅう た を きゅう た を きゅう と ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	でを提供を は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できままます。 は、できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	入制技権はは、おおいては、大学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	義前年の評価をはいる。	の事意総価の方面のおります。	の見られた。シート 価値 の 世上 現状 維 オ の が が か が か が か か か か か か か か か か か か か	がら、 定号の度に サード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	後奏施計	止の検 A 方法等制 大
C H E C K ) 改革・改善の方向性(ACTI	№ 題 総合評価 今後の方向性改革・	事を 前 成果の方向性 登録制	<b>細格関となる</b> 水田 拡 現 縮 休 の確:	施食 革焼 た 掛 小 止 立 立 ・	・ 改 ・ 改 ・ 改 ・ 数 ・ 数	策 受入1 事 策	E の 3	<b>美施</b> か投	大 (元 (香 (香) (香) (香) (香) (香) (香) (香) (香) (香)	<b>請等の実 前</b> ① ③ ① ① ① ⑤ ① ① ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ②	<b>対施方法</b> (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	等を定する。	本関、     有     成果の方向性     制度       (日本)     (日本)	格実施   機関で   株   水   水   水   水   水   水   水   水   水	ことを育報 を きゅう た を きゅう た を きゅう た を きゅう と ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	でを提供を は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できままます。 は、できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	入制技権はは、おおいては、大学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	義前年の評価をはいる。	の事意総価の方面のおります。	の見られた。シート 価値 の 世上 現状 維 オ の が が か が か が か か か か か か か か か か か か か	がら、 定号の度に サード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	後奏施計	止の検 A 方法等制 大
C H E C K ) 改革・改善の方向性(ACTIO	№ 題 総合評価 今後の方向性改革・改	事を 前 成果の方向性 登録制	<b>細格関となる</b> 水田 拡 現 縮 休 の確:	施食 革焼 た 掛 小 止 立 立 ・	・ 改 ・ 改 ・ 改 ・ 数 ・ 数	策 受入1 事 策	E の 3	<b>美施</b> か投	大 (元 (香 (香) (香) (香) (香) (香) (香) (香) (香) (香)	<b>請等の実 前</b> ① ③ ① ① ① ⑤ ① ① ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ②	<b>対施方法</b> (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	等を定する。	本関、     有     成果の方向性     制度       (日本)     (日本)	格実施   機関で   株   水   水   水   水   水   水   水   水   水	ことを育報 を きゅう た を きゅう た を きゅう た を きゅう と ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	でを提供を は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できままます。 は、できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	入制技権は、は、おおいては、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	義前年の評価をはいる。	の事意総価の方面のおります。	の見られた。シート 価値 の 世上 現状 維 オ の が が か が か が か か か か か か か か か か か か か	がら、 定号の度に サード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	後奏施計	止の検 A 方法等制 大
C H E C K ) 改革・改善の方向性(ACTION	№ 題 総合評価 今後の方向性改革・改善	事を 前 成果の方向性 登録制	<b>細格関となる</b> 水田 拡 現 縮 休 の確:	施食 革焼 た 掛 小 止 立 立 ・	・ 改 ・ 改 ・ 改 ・ 数 ・ 数	策 受入1 事 策	E の 3	<b>美施</b> か投	大 (元 (香 (香) (香) (香) (香) (香) (香) (香) (香) (香)	<b>請等の実 前</b> ① ③ ① ① ① ⑤ ① ① ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ②	<b>対施方法</b> (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	等を定する。	本関、     有     成果の方向性     制度       (日本)     (日本)	格実施   機関で   株   水   水   水   水   水   水   水   水   水	ことを育報 を きゅう た を きゅう た を きゅう た を きゅう と ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	でを提供を は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できままます。 は、できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	入制技権は、は、おおいては、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	義前年の評価をはいる。	の事意総価の方面のおります。	の見られた。シート 価値 の 世上 現状 維 オ の が が か が か が か か か か か か か か か か か か か	がら、 定号の度に サード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	後奏施計	止の検 A 方法等制 大
C H E C K ) 改革・改善の方向性(ACTION	№ 題 総合評価 今後の方向性改革・改	事を     前     成果の方向性     登録	<b>細格関となる</b> 水田 拡 現 縮 休 の確:	施食 革焼 た 掛 小 止 立 立 ・	・ 改 ・ 改 ・ 改 ・ 数 ・ 数	策 受入1 事 策	E の 3	<b>美施</b> か投	大 (元 (香 (香) (香) (香) (香) (香) (香) (香) (香) (香)	<b>請等の実 前</b> ① ③ ① ① ① ⑤ ① ① ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ②	<b>対施方法</b> (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	等を定する。	本関、     有     成果の方向性     制度       (日本)     (日本)	格実施   機関で   株   水   水   水   水   水   水   水   水   水	ことを育報 を きゅう た を きゅう た を きゅう た を きゅう と ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	でを提供を は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できまます。 は、できままます。 は、できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	入制技権は、は、おおいては、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	義前年の評価をはいる。	の事意総価の方面のおります。	の見られた。シート 価値 の 世上 現状 維 オ の が が か が か が か か か か か か か か か か か か か	がら、 定号の度に サード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	後奏施計	止の検 A 方法等制 大

事	務事	<b>集名</b>	茅野市新入:	社員	吹迎ノ	(会事	業								事業期間	平成		~		年度	整理番号	0403	0343
担	当剖	署	產業経済部			商	工課				商業労	政係			作成担当	者名	小	平	昌 :	紀	連絡先	43	3
計画	お事	する	プランに 位置づけ 事業名	る。	野市	際、	「業 記念」	るとし	事業 職し、 て、 <b>細</b>	06 02 新社会 文をイ	第6節 労働カ ー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	5 雇	用の確定と雇用:	保と人 対策 新規学 を贈呈	きやすく、 材の育成 校卒業者 し、茅野	会計の門出	コード 3 <b>を祝</b> 神	001   Gする	款しため親	05 項	頁 01 目 <b>員歓迎大</b>	会を開催	iす
]	現 (	状ど	と 背 景 うして)			ロー/ある。		展開に	伴い、	雇用现	境が変	変化す	るなか	、次代	を担う人	材の層	用と	置用先	で確保	は、	各自治体	において	重要
( P	目	対象	受益者 (誰のために) 対象 (直接働きかける)		新入 事業																		
	的	(どん	意図 な状態にしたいか)												の愛情を	育む。							
L A			・ 方 法 やって)	記念会場	品代(茅	(366, 野市 B	000F 見館)	円)		560円		員歓迎	!大会を	開催す	· <b>る</b> 。								
N	評価指標	活動指標	行政活動の 新規採用し				だす	ものは		指 <b>企業へ</b> 数	標 ・ <b>の開作</b>		称 <b>通知</b>	単 位 人	算出方: <b>前年度</b> (					定の考	え方なと	最終目	標値 <b>49</b>
)	の作成	成果指標	成 果	· 迎大 <del>ź</del>	効 会参加	-11	は	何	?	指	標金参加	名 <b>D者数</b>	称	単位人	算出方:			• 目標	票値設定	定の考	え方なと	最終目	提信 146

	Į	頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度事業計画(予算)
	_	事業 費等	(a)	т	200 200	222 004	262 000		
			(a)	<u>H</u>	308, 290	332, 904	362, 880	439, 320	454, 000
	財	国庫支出	金	<b>3</b> 🗷					
実	源	県 支 出	金	] I					
	内	地方	債	1 II					
	訳	その他特定財	源	<b>3</b> 🗷	000 000	000 004	000 000	400,000	454 000
施		一般財	源	<u>H</u>	308, 290	332, 904	362, 880	439, 320	454, 000
me	職	正規職	員	人	0. 02	0. 02	0. 03	0. 03	0. 03
	員	嘱 託 職	員	ᄉ					
	数	臨 時 職	員	人	A 00	0.00	0.00	0.00	0.00
状		合	計	人	0. 02	0. 02	0. 03	0. 03	0. 03
	7		数						
			(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
		市民一人当たりのコス		円	5. 00	6. 00	7.00	8. 00	12. 00
		企業への開催案内通知	目標	人	53	53	50	49	54
		数	実績		53	50	49	54	54
	活	*	達成率	%	100.00	94. 34	98. 00	110. 20	100. 00
	動		目標	_					
	動指	_	実績						
D	標		達成率	%	_	_	-	_	_
_	ीर्गर		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	_			_	_
0	+		目標	人	130	130	130	146	158
	成	歓迎大会参加者数	実績		133	151	146	158	158
	果指		達成率	%	102. 31	116. 15	112. 31	108. 22	100.00
<b>O</b>	指		目標	_					
	標	_	実績						
			達成率	%			_	_	_
	備考	活動指標の企業数は、茅 ※最終目標数値は本事業	野市労	務対策  まなし	F協議会加盟数及び公 いので設定しない。	<b>六共機関等の実数</b>			



事系	事	<b>Ě名</b>	中小企業退	しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅう しゅう	共済技	卦金補	助事	業							事業期間	平成		~		年度	整理番号	04030334
担:	当部	署	産業経済部			商	江課				工業	労政係	ŧ.		作成担当	者名	小	平	昌	紀	連絡先	433
			プランに ) 位置づけ	有	政:	策体	系	政施 細が事務		04 06 04 01		<ul><li>節 層</li><li>者福祉</li></ul>	用の配	権保と人 の充実	かきやすく、 、材の育成 と補助事業	、訪れ	てみた	:い緑	のまち	づく	Ŋ	
計	予	算	事 業 名													会計	コード	001	款	05	項 01 目	01 事業 03
画	事為	務 事	<b>; 業の概要</b> わかりゃすく)	たも	500	被共	斉者	1人に	ついて	<b>こ1か</b> .	月20	0円	を3年	間補助す	する。	業者に	対し [·]	て、中				金の契約をし
			と 背 景うして)	市内	内の中	小企	業の	<b>芷業者</b>	の福祉	上の増	進と中	小企	業の振	興を図る	るため							
(	目	対	受益者		\企業 \企業																	
P		象	対象 (直接働きかける)				A 11 •		A IT N	4 1 4-												
	的	(どん	意図 のな状態にしたいか)								扯の向											
L			・ 方 法 やって)	中小	<b>`企業</b>	退職	金共	番と契	約した	≐企業:	者に対	il, i	共済者	1人に	ついて 1 か	9月20	ОР	を3年	<b>F間補</b> 耳	かする	0 0	
		活	行政活動の						は何?	指	174	名	称	単 位	- J			・目標	票値設定	定の≉	きえ方など	最終目標値
N	評価指	^石 動指標	中小企業退	概金:	共済技	<b>事金契</b>	納者			補助的	金を受	けたノ	数	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	前年度	の対象	者					405
)	標の		成果	_	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単布	立 算出方	法・討	<b>计</b> 算计	• 日杉	票値 設っ	定の考	きえ方など	最終目標値
	作成	成果指	中小企業退		.,,						^{1示} を受け			社	前年度			ы 17		_ 0,7	3 7 C 7 J · G C	76
		標																				

		頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	luli.		(a)	円	1, 023, 800	787, 200	745, 600	679, 200	1, 200, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	1, 023, 800	787, 200	745, 600	679, 200	1, 200, 000
施	職	正 規 職	員	人	0. 03	0. 03	0. 03	0. 03	0. 03
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人	0. 03	0. 03	0. 03	0. 03	0. 03
1/	X		数						
	3		(b)		605	460	405		
	Ě	単 位 コ ス ト (a)/	(b)	円	1, 692	1, 711	1, 841	_	_
況	Š	受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	18.00	14. 00	13. 00	12. 00	26. 00
			目標	人	648	605	460	405	381
		補助金を受けた人数	実績	<b>~</b>	605	460	405	381	
	活		達成率	%	93. 36	76. 03	88. 04	94. 07	_
	乱		目標	_					
	動指	_	実績						
D	扣		達成率	%	-	_	_	_	_
	標		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	-	-	_	_	_
0			目標	社	72	72	74	76	81
	成	補助を受けた企業数	実績	71	72	74	76	81	81
	果指		達成率	%	100.00	102. 78	102. 70	106. 58	100.00
	指		目標		·				
	標	_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
	備								
	考								

性	事務	事	業名	中小企	業退	職金	共済担	金補耳	力事業								事	業期間	引 平	成		~	白	F度	整理番号	0403	0334
田 月 期 加入のPR及び促進 キの機能による加入促 特徴 かっぱい かい	担当	当部	3署	産業組	译音			商	に課			工業	*労政係				作	戓担≌	当者名	1,	/ 2	<u>r</u>	昌和	!	連絡先	43	33
国 1 別 次のPR及び能差 特別 (		期				E	目標							実	績								Ī	果	題		
現場の発展を発展を発展を発展を発展を発展を発展を発展を発展を発展を発展を発展を発展を発	匹	1	加入	のPR	及び仏	足進							ペット及び	ホー	- <b>Д</b> -	<b>~-</b>	-ジへの	の制度	問知			• • • • • •	不十分	} <i></i> 01	とめ、加入	促進につ	つな
第 3 歳		2				ージ等	等への	掲載に	よる加	入促	等掲載	戊					-ジへの	の制度	問知							等を掲載	成する
#		3				ージキ	等への	掲載に	よる加	入促			ペット及び	ホー	- <b>L</b> -	<b>~-</b>	-ジへの	り制度	問知							等を掲載	成する
	بر	4								0	•申請	事業所	f81 <b>事業</b>	所	381	名(	こ対し	補助金	交付	が増	加し	折規(	の加入す	者が	減少してい	過した対 る。制度	<b>象者</b> 隻の
当年度開始後、約6ヶ月が軽適し、新たに生じた問題点や環境の変化 後 の 別状維持 ③ ⑤ レ ③ 別状維持 ③ ⑥ レ ③ 別状維持 ③ ⑥ レ ③ 別状維持 ③ ⑥ レ ③ 別状維持 ④ の の 向性 体 廃止 ① は 瀬 全側度を始合で制設できない事業所には、本制度は国の制度であり 古 人 対 方 向性 体 廃止 ① は 瀬 全側できない事業所には、本制度は国の制度であり 古 人 カ ウ 内 性 体 廃止 ① で ス ト 投 入 の 方 向 性 神 一 の カ 中 性 総 合 評 価 判 項 アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・ア	മ												•		評	i	価										
### ### ### ### ### ### ### ### ### #		当年	年度開	開始後	、約	6ヶ.	月が紹	過し、	新た	に生じ	た問題	点や環	境の変	化	今				_			2		(	<b>3</b>	7	
### ### ### ### ### ### ### ### ### #	筶													1	後							3		(	3) V	9	
新年度の実施計画・予算要求事項 (改革・改善策)   通識金制度を独自で制度できない事業所には、本制度は国の制度であり 位果負の権利事業をして有効であることから、制度の周知し加入促進をする。   2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3	Ħ													(	の		縮	,	j۱			4		(8	3	10	
議議会の福利事業をして有効であることから、制度の周知し加入促進をする。			¥	新年度	きの実	[施言	十画・	予算要	求事	項(改	(革・改	女善策	)	╡:	方			廃 」	ь (	1)							
性		退继续	職金	制度を	独自	で創	設でき	ない事	業所に	は、本制度	制度はの思知	国の制	度であり	丌	向	-					減	縮	<u>ال</u>	\ 7	見状維持	拡	大
現点 妥 当 性 有 効 性 効 率 性 総合評価判 項			<b>E Q U J</b>	1847	F*C		HWI	ے تو رق	C // -/ -/	V 109732.V	77 /BJ XH C	J/JH / \	ACAE & 9											•			
現点 妥 当 性 有 効 性 効 率 性 総合評価判 項		_	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 職金制度を独自で創設できない事業所には、本制度は国の制度であり 計算の福利事業をして有効であることから、制度の周知し加入促進をす 性性																								
評価の観点		_		<del></del>	3				<u> </u> 性		有	3	功 ·	性		T	3	) )	率		性		総	合	評価	判	定
チェック       4       4       4       4       4       4       4       4       4       4       2       企業に対し、共済制度のPRを行い、加入企業の拡大を図る。補助金交付期間が満了となる加入者が年度       記号が適当事業を進めるとが適当の方に改善機会と対しても、ばらつきがある。とから、補助金交付額についても、ばらつきがある。とから適当の方と実施で定し、事業の進め方に改善機会した必要を支援を表する。事業の進め方に改善機会した必要を支援を表する。事業の理点しが必要を支援を表する。事業の理点しが必要を支援を表する。事業の理点しが必要を支援を表する。事業の表するとで、新たに退職金制度を設置する企業を支援できる。退職金掛金に対して補助金を交付すると共済入会への弾みとなる。       4       4       A : 計画とおり事業を進めるとが適当の方に改善機会と対のできる。退職金付金に対しるの見面しが必要を支援できる。退職金付金に対して補助金を交付すると表済入会への弾みとなる。       4       4       第 回 後       第 回 後       第 回 後       第 回 後       第 回 後       第 回 後       第 回 後       第 回 後       第 回 後       第 回 後       第 回 後       第 回 後       第 回 後       第 回 後       第 回 後       第 回 後       第 回 後       第 回 後       第 回 後       第 回 後       第 回 後       第 回 後       第 回 後       第 回 後       第 回 後       第 回 後       第 回 回 を       第 回 回 を       2 回 の 方 回 性       2 回 の 方 回 性       2 回 の 方 回 性       2 回 の 方 回 性       2 回 の 方 回 性       2 回 の 方 回 性       2 回 の 方 回 性       2 回 の 方 回 性       2 回 の 方 回 性       2 回 の 方 回 性       2 回 の 方 回 性       2 回 の 方 回 性       2 回 の 方 回 性       2 回 の 方 回 性       2 回 の 方 回 性       2 回 の 方 回 性       2 回 の 方 回 性       2 回 の 方 回 性       2 回 の 方 回 性       2 回 の 方 回 性       2 回 の 方 回 性       2 回 の 方 回 性       2 回 の 方 回 の の 利       2 回 の 方 回 の 利       2 回 の 方 回 の 利       2 回 の 利       2 回 の 方 回 の 利<	<b>⊕</b> 17	評価	面の観	点	1		3	4	判	<b>主</b> 1	2	3	4	<u></u> 半	定		1	2	3	4		]定					
Total	ЯT								•						•							•					
<ul> <li>総 補助金が受けられることで、新たに退職金制度を設置する企業を支援 補助金が受けられることで、新たに退職金制度を設置する企業を支援 補助金が受けられることで、新たに退職金制度を設置する企業を支できる。退職金掛金に対して補助金を交付すると共済入会への弾みとなる。</li> <li>政 革・改 善 策 の 実 施 状 況 実 施 済 前 年度 細 施 策 評 価 前 概 策 評 価 検</li> <li>成 拡 充 ② ⑤ ⑦ 成 拡 充 및 現状維持 ③ ⑥ レ ⑨ の方向性 体 廃 止 ① 性 体 廃 止 ① 性 体 廃 止 ① 性 体 廃 止 ① 性 体 廃 止 ② 当補助金の制度を各企業へ周知し、事業を行っていく。</li> </ul>	~		ごと	にばら	らつき	があ	ること	とから、	,補助	金交付	け額につ	いても	も、ばら	つき	がる	ある	)						号の定義 前年	: : : : : : : : : : : : : : : : : : :	業の進めた 業規模・内 見直しが必 業の統合、 が必要 合評価判別	容・実施   要  休・廃」 	施主体 止の検 <mark>A</mark>
E       できる。退職金掛金に対して補助金を交付すると共済入会への弾みとなる。       前年度改革・改善策の実施状況 実施済 前年度細施策評価における今後の方向性       放本・改善の方向性     無のの方向性       現状維持     ③     ⑤     収集の方向性       日本・改善の方向性     単規状維持     少       日本・改善の方向性     単規状維持     少       日本・改善の方向性     日本・改善の方向性       日本・改善の方向性     日本・改善の方向性       日本・改善の方向性     日本・改善・企業・同知し、事業を行っていく。	н			細		抗	<u>E</u>	策		評	価	j	前				細		施		策		評		価	後	
前年度改革・改善策の実施状況     実施済     前年度細施策評価における今後の方向性       改革・改善策の実施状況     実施済     前年度細施策評価における今後の方向性       機のの方向性     規状維持     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100     100 <th>E</th> <th>合</th> <th>でき</th> <th>る。』</th> <th></th> <th>れる</th> <th>ことで</th> <th>で、新7</th> <th></th> <th>職金制</th> <th></th> <th></th> <th>6企業を</th> <th></th> <th>補でな</th> <th>助きる。 る。</th> <th>金が受 る。退 ,</th> <th>けら 職金</th> <th>れるこ</th> <th>対し</th> <th>、新7</th> <th>か金</th> <th>退職金</th> <th>制度する</th> <th>を設置する と共済入野</th> <th>る企業を</th> <th>・ 支援</th>	E	合	でき	る。』		れる	ことで	で、新7		職金制			6企業を		補でな	助きる。 る。	金が受 る。退 ,	けら 職金	れるこ	対し	、新7	か金	退職金	制度する	を設置する と共済入野	る企業を	・ 支援
改革・改善等     無     (株)	J	価	前	在 度	₹ 745	苗	• 7/5	盖台	ŧ σ	宝 施	壮 沅	1 5	<b>E</b> 旅	落	亩	i 在	· 使 糾	l 旃 勻	5 証 (	<b>邢 1</b> .=	おけ	<b>み</b> :	全後の	<u> </u>	向 性		
草・改 音の方向性       小 原理 のの方向性       ・ 放 上の方向性       ・ 以 上の方向性       ・ 次 の 方向性       ・ 以 の 方向性       ・ 次 の かんりをとを企業へ間知し、事業を行っていく。       ・ 次 の かんりをとを企業へ間知し、事業を行っていく。       ・ 次 の かんりをととなきをと変へに対している。       ・ 次 の かんりをととと変へに対している。       ・ 次 の かんりをととと変へに対している。       ・ 次 の かんりをととと変へに対している。       ・ 次 の かんりをととと変している。       ・ 次 の かんりをととと変している。       ・ 次 の かんりをととと変している。       ・ 次 の かんりをととをと変している。       ・ 次 の かんりをとととなされる。       ・ 次 の かんりをととと変しないる。       ・ 次 の かんりをととと変しないる。 <td< th=""><th>改</th><th>^</th><th>13-3</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th><b>W</b>1</th><th>1</th><th>, ,</th><th></th><th>,,,,</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>/3</th><th></th><th>後</th><th></th></td<>	改	^	13-3											<b>W</b> 1	1	, ,		,,,,						/3		後	
改善の方向性性     現状維持     ③     ⑥     レ     ⑨     果の方向性     現状維持     レ       方向性性性     体廃止     ①     ⑧     ①     性体     体廃止     ①       性性性     財政     縮     小     財政     本     財政	革		成				<u> </u>		2	н					١.	st)		3					мі	ī	im —		
書の方向方向性性性       体廃止       ①       (日本)		後	果						.j		<u>-</u>					果											
グラウラ ウ 性       休廃止       ①       ・ は 休廃止       ・ は は 休廃止       ・ は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	善	の							.i																		
向性性性       皆減縮 小 現状維持 拡 大 皆 減縮 小 現状維持 拡 大 日 減縮 小 現状維持 拡 コスト投入の方向性 カースト投入の方向性 カースト カースト カースト カースト カースト カースト カースト カースト		方	向						4)		8		W			白						ļ		-		ļ	
Image: Control of the control of	向	向	往	17	<b>序</b>	<u> </u>		<b>.</b> .h			Ib	6# 1±	14		┨ ¹	土		廃Ⅰ		Lle	<b>1</b> _b			_		1.4	
A 改 当補助金の制度を各企業へ周知し、事業を行っていく。 当補助金の制度を各企業へ周知し、事業を行っていく。	性(	性	_				皆						• . •	大			_										大
			当補	助金0	り制度	を名	企業	一周知			ってい	٧,			当	補具	り金の	制度	を各企	業へ	周知	U, 3	事業を	うつ	ていく。		
		革																									
	I	-																									
N B	N	善																									
<b>策</b>	J	策																									
最終評価年月日 平成29年5月19日 最終評価責任者 <b>商工課長</b> 上田佳秋	最終	经評	価年	月日	平	成29	年5月	19日	最《	冬評	価 責	任 者					商	工課	長					Ŀ	<b>H</b>	佳	秋

事系	务事為	<b>Ě名</b>	勤労者生活	資金	融資事	業									事業期間	平成		~		年度	整理番号	04030336
担	当 部	署	産業経済部			Ī	有工課	Į			工業党	分政保	Ŕ		作成担当	者名	小	平	昌	紀	連絡先	433
			プランに 位置づけ	有	政分	策 体	: 系	施 細 旅事務		06 04		作 層	E用の確 L事業の	保と人	きやすく. 材の育成	、訪れ	てみた	とい縁	のまな	らづく	Ŋ	
計	予	算	事業名					3- 323	7- 2/4					-X - X		会計	コード	00	款	05	項 <b>01</b> 目	01 事業 03
画	事初	务事	「 <b>業の概要</b> わかりやすく)	市は		金と	して								るため長 音の2億F					て融資	を行う。	低く抑え、
	現 (	状ど	と 背 景うして)	市内	の勤	労者	の生活	舌の安	定のた	め												
	目	対	受益者		の勤																	
P		象	対象 (直接働きかける)				•															
	的	(どん	意図 のな状態にしたいか)												れるよう							
L A			・ 方 法 やって)	長里	<b>予</b> 県労	働金	庫に対	材し、	市から	預託金	<b>金とし</b> *	₹ 7 ³	千万円	を無利子	で預け、	2. §	5倍の	1. 7	7 5 億	円を配	<b>装資枠とし</b>	て融資する。
			行政活動の	結果	からこ	o ( ا	ナだす	ものに	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	算式	・目标	票値設	定のを	考え方など	最終目標値
N	評	活動的	勤労者が融	資を	受けれ	<b>≀</b> ວ⊴໌	融機	関		金融機	製			箇所	市内労	働金庫	の数					1
	価指標	指標	融資枠の確	<b>呆</b>						融資料	<b>神使用</b>	<u>*</u>		%	年度末	融資残	高(円)	) ÷融	資枠(	円) ×	100	*
	の作	成	成 果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	算式	・目標	票値設	定の	考え方など	最終目標値
	成	果指	勤労者が融	資を	受けれ	เる╅	融機	関		金融機	関			箇所	市内労	働金庫	の数					1
		標	融資を受け	た勤	労者の	数				融資作	数			件	当該年	度の融	資件数	<u> </u>				*

	I		B	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算	平成29年度
								又は決算額)	事業計画(予算)
			(a)	円	70, 000, 000	70, 000, 000	70, 000, 000	70, 000, 000	70, 000, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
	訳	その他特定財	源	円	70, 000, 000	70, 000, 000	70, 000, 000	70, 000, 000	70, 000, 000
tide		一般財	源	円					
施	職	正規職	員	人	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02	0. 01
	員	嘱 託 職	員	ᄉ					
	数	臨 時 職	員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04
状		合	計	人	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02	0. 01
	12		数						
			(b)	В					
			(b)	円	-	-	_	-	-
況		受 益 者 負 担 市民一人当たりのコス	額	円	1 047 00	1 050 00	1 000 00	1 001 00	1 005 00
		市民一人当たりのコス		円	1, 247. 00	1, 250. 00	1, 255. 00	1, 261. 00	1, 265. 00
		<u> </u>	目標	箇所	1	1			1
		金融機関	実績達成率	%	100.00	100, 00	100.00	100, 00	100, 00
	活		目標	90	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	動指	融資枠使用率	実績	%					
	指	<b>威</b> 莫什使用华	達成率						
D	標			0/6	_	_	_	_	_
				%	_	_	ı	_	_
		_	目標	% _	_	_	-	_	_
		_	目標 実績	-	_			_	
0		_	目標 実績 ^{達成率}	<b>-</b> %		-			-
0	成	- 金融機関	目標 実績 ^{達成率}	-					
0	果	金融機関	目標 実績	- % <b>箇所</b>					1
0	果	金融機関	目標 実績 産成率 目標 養成率	- % <b>箇所</b> %					
0 )	果指		目標 実成標 景成標 目 実成標 目 実成 標 目 実成 標	- % <b>箇所</b>	- 1 1 100.00	- 1 1 100.00			1
0 )	果指	金融機関	目標 実績 産成率 目標 養成率	- % <b>箇所</b> %					1
o )	果 指標	融資件数	目標 達成標 達成標 達成標 達成標 養成本標 養成本標 養成本	一 <b>箇所</b> % 件 %	- 1 1 100.00 29 - 融資枠175.000.000	- 1 1 100.00 16 -	1 1 1 100.00		- 1 1 100.00
0 )	果指標備	融資件数 H29年3月末:融資残高57 ※H23年度から指標に追	目標 達成率 目標 実成標 実成標 実成標 実成率 で で で で で で で で で で で で で	一 第 第 % 件 % 46円、 冬目標	- 1 1 100.00 29 - 融資枠175,000,000 値は、本事業に馴染	- 1 1 100.00 16 -	1 1 1 100.00		- 1 1 100.00
0 )	果指標備	融資件数	目標 達成率 目標 実成標 実成標 実成標 実成率 で で で で で で で で で で で で で	一 第 第 % 件 % 46円、 冬目標	- 1 1 100.00 29 - 融資枠175,000,000 値は、本事業に馴染	- 1 1 100.00 16 -	1 1 1 100.00		- 1 1 100.00

	当部	来名 勤力	奴支出	7		- A	- 100				## AH TH	16			争耒期 作成担	_		\ \\			芝 全地	级生		422
担	크리	首 性素	経済部	)		商	上际				業労政	1末			TF风担	ヨ白て	3 1	· <u> </u>		1 紀	) 理	絡先		433
	期			E	標							実	績							課	題			
	**																							
	第 1																							
四	期																							
	191																							
半	第																							
	2																							
	期																							
期																								
	第																							
	3																							
ij	期																							
	第																							
L	4																							
۲	期																							
	•••										_			-	_									
_O											事	中	評		6									
	当年	年度開始?	发、約	6ヶ月	月が経:	過し、	新た	に生じ	た問題	息点や現	環境の	変化			拡	充			2		<b>⑤</b>		7	
														果	現状維	持			3		<b>6</b>		9	
管														¥										
														方 向	縮	小			4		8		10	
理		新年	度の実	実施計	画•-	予算要	求事	項(改	改革・	改善策	ŧ)				休廃	止	1							
理													向	_			比	2 <del>mlt</del>	<b>火</b> 亡	ds	TE /下。	6# +±	+++	
															/		皆	減	縮		現状		拡	大
													性	/			⊐	ス	۲	投ノ	(の	方	向	性
							1																	
	_	評価年度	_		年度																			
		見点		妥	当		性		有		効	性			効	琗	<u> </u>	性		総	合 評	価	判	定
評	評価	面の観点	1	2	3	4	判》	定	1 2	2 3	3 4	4	判定	1	2	3	4	判	定			^		
МТ	チ	ェック					4						4					4				Α		
		勤労者が	安心し	て生	活する	には	独資金	融機	関がある	3 <b>2 2</b> 1	は必要	であ	<b>3</b> 。				•	•		記 A:			業を近	重めるこ
		利用者が	【伸り【ナ	たしきこ	上から	. <u>ज</u> ∡ F	龙23年	唐10	ロルーセント	计到率	A 8 10		++-	OE Æ	申かにる	医红虫	トの温息	医太经	$\sim$	ᇛ	とが適	_		
_															文//・ウ	real M	エリノが残役	#Æ11	1	号 R.		准め方	二改章	ほが必要
価	課	た。今後													<b>X</b> N.01	「共命し立	Z リノ 消失者	RŒ1J		の c :	事業の 事業規	模・内	容・第	
価	課														<b>,</b>	re e c	z U <i>) 消</i> 残を	g Œ 1J		の C:	事業の 事業規 の見直	模・内 しが必	容・写 要	<b>[施主体</b>
価(	₩.														<b>9</b> 0.61	I A B C 31	Z <i>V J i</i> <b>9</b> . 合	# <b>2</b> 1 J		の 定	事業の 事業規 の見直	模・内 しが必 統合、	容・写 要	<b>[施主体</b>
	課題														<b>9</b> ,0-61	ra a Cu	Z O J 海风 台	R & 11		の C:	事業の 事業規 の見直 事業の 討が必	模・内 しが必 統合、 要	容・写要体・原	<b>[施主体</b>
価(C	₩.														<b>ξ</b> W·Θ]	re a C M	Z O J 海风 他	8 <b>2</b> 1 J		の 定 義 D:	事業の 事業規直 の 事業が 合評 総合評	模・内 しが必 統要 価判定	容・写要休・原	関を 関連の検 A
	題	た。今後			を見な					として						施		策		の 定義 D: 前年度	事業の 事業規直 の 事業が 合評 総合評	模・内 しが必 統要 価判定	容・写要休・原	
( с н	₩.	た。今後	田	 	を見な i 活する	策しては	利用し	・やすい	い制度と	<b>として</b> : <b>西</b>	行くこ	. とが!	必要。	労者が	細なのし	施て生	舌する	策には必		の定義 前年度評 <b>評</b>	事業規画の事計が合い。	模・内必統要 価料 整理番	容要休 号 04	ミ施主体 軽止の検 A -030209
C	K 題 総	た。今後 勤労者が	田田・山田・山田・山田・山田・山田・山田・山田・山田・山田・山田・山田・山田・山	   大況        大況        大記      	を	策にはよ	り用し	かすし 評 :する)	の制度と	<b>上して</b>	行くこ <u>前</u> 借りる	ことが	が動で	労者がきる金	安心し	施 で生 が必	舌するに要であ	<b>策</b> には必	要と	の定義 前年度 前年度評 <b>評</b>	事業の事計総価シーケー価金を低	模し統要価 整 利 内必、 定番 で	容要休・月 04 後 りる	ミ施主体 廃止の検 A 030209
( C H E	K 題 総	た。今後 勤労者か で平成23年	細 『安心 と を で で で で し で し で し で り り に り り に り り り り り り り り り り り り り	状況   施生必度	を	まがられ 策 には。 こしを行	別用し	. やすし <b>評</b> :する〕	い制度と	として? 西 匹利で	行くこ <u>前</u> 借りる	ことが	必要。動で平	・ 労者が きる 成23年	細  安心し    10月に	施 て生汁 制度(	舌要の見直 で見直	<b>策</b> には必 る。 しを行	多要と	の定義 前年度評 <b>評</b> <b>する資</b>	事事の事討総価金増加	模し統要価 <u>整利</u> たの必、定番でもの。	容要休・月 04 後 りる	ミ施主体 廃止の検 A 030209
( с н	題総合	た。今後 勤労者が	細 『安心 と を で で で で し で し で し で り り に り り に り り り り り り り り り り り り り	状況   施生必度	を	まがられ 策 には。 こしを行	別用し	. やすし <b>評</b> :する〕	い制度と	として? 西 匹利で	行くこ <u>前</u> 借りる	ことが	必要。動で平	・ 労者が きる 成23年	細  安心し    10月に	施 て生汁 制度(	舌要の見直 で見直	<b>策</b> には必 る。 しを行	多要と	の定義 前年度 前年度評 <b>評</b>	事事の事討総価金増加	模し統要価 <u>整利</u> たの必、定番でもの。	容要休・月 04 後 りる	ミ施主体 廃止の検 A 030209
( с н ш с	K 題 総	た。今後 勤労者か で平成23年	細 『安心 と を で で で で し で し で し で り り に り り に り り り り り り り り り り り り り	状況   施生必度	を	まがられ 策 には。 こしを行	別用し	. やすし <b>評</b> :する〕	い制度と	として? 西 匹利で	行くこ <u>前</u> 借りる	ことが	必要。動で平	・ 労者が きる 成23年	細  安心し    10月に	施 て生汁 制度(	舌要の見直 で見直	<b>策</b> には必 る。 しを行	多要と	の定義 前年度評 <b>評</b> <b>する資</b>	事事の事討総価金増加	模し統要価 <u>整利</u> たの必、定番でもの。	容要休・月 04 後 りる	ミ施主体 廃止の検 A 030209
( C H E	K 題 総合評	た。今後 勤労者か で平成23年	細 『安心 と を で で で で し で し で し で り り に り り に り り り り り り り り り り り り り	状況   施生必度	を	まがられ 策 には。 こしを行	別用し	. やすし <b>評</b> :する〕	い制度と	として? 西 匹利で	行くこ <u>前</u> 借りる	ことが	必要。動で平	・ 労者が きる 成23年	細  安心し    10月に	施 て生汁 制度(	舌要の見直 で見直	<b>策</b> には必 る。 しを行	多要と	の定義 前年度評 <b>評</b> <b>する資</b>	事事の事討総価金増加	模し統要価 <u>整利</u> たの必、定番でもの。	容要休・月 04 後 りる	ミ施主体 廃止の検 A 030209
( с н ш с	題総合	た。今後 勤労者か で平成23年	田安心機関に 推移し	けん では しょう はんしょう おいま かんしょう おいま かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう しょう はんしょう はんしょく はんしょ はんしょ はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしん はんしん	を	策 にる。 にる。 にる し く を ほ り	り用し 要と 利度は利	評:する資用者が	い制度 資金を何 が増加し 氏調です	として:	行くこ <u>前</u> 借りる	ことが	が動で平が	労者が金年 対き 対 対 は 調 に	田  安心し     記機関に   10月に   推移し	施 て生 が必 制度 で さ	舌する 要であ の見 たが、	<b>策</b> には必 る。 で 令 年度	う要と	の定義 前年度評 <b>評</b> <b>する資</b>	事事の事計総価金増調の規直の必評ト価低しあ	模し統要価整利たる内必、定番で、	容要休・月 04 後 りる	ミ施主体 廃止の検 A 030209
( C H E C K )	路 題 総合評価	た。今後 動労者を記録に 前	田 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	大	を見 活要のた ひるあ直、	<b>策</b> にる。 にる。 を行	り用し 要と 利度は利	評 書が 開 が 傾 実 施	い制度 を全を介 の の の の の の の の の の の の の	<b>西</b> した。	一	ことが	が動で平が	<b>着</b> 労き成23年順 順 軍 年 度	研 安心し関 10月 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11	施 で必 が 制度 で ぎ 評	舌する あで見 たが、 価 に ;	策 には必 る。 を行 は け	う要と	の定義 前前年度 評 する資 が低	事事の事討総価金増調 の規直の必評ト価値にしあ 性	模し統要価整利たる・が合料理で。。	容要休・月 04 後 る	ミ施主体 廃止の検 A 030209
( с н ш с	K 題 総合評	た。今今 者る3年に 前 市 年 前	田安心機関に10月に推移した	けん でが制で 革 施	を見 活要のた ひるあ直、	策 にる。 にる。 にる し く を ほ り	利用 必 デ t を い は 和	評:する資用者が	をおります。	<b>西</b> した。	情 以降、 施前	ことが	が勤で平が	労者の金年に (年本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日	細安心し関10月にし 細施 施 無細 施 無細	を 一	舌する あで見 たが、 価 に ;	<b>策</b> には必 る。 で 令 年度	う要と	の定義 前年年度 評する が低	事事の事計総価金増調の規直の必評ト価低しあ	模し統要価整利たる・が合料理で。。	容要休・月 04 後 りる	ミ施主体 廃止の検 A 030209
( C H E C K ) 改革·	路 題 総合評価	た。 <b>勤</b> で平が順前 成	田 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	大	を見 活要のた ひるあ直、	<b>策</b> にる。 にる。 を行	り用し 要と 利度は利	評 書が 開 が 傾 実 施	い制度 を全を介 の の の の の の の の の の の の の	<b>西</b> した。	一	ことが	が勤で平が	労者が金年に 度 年 成	細安心し関10月にし 細施 施 無細 施 無細	施 で必 が 制度 で ぎ 評	舌する あで見 たが、 価 に ;	策 には必 る。 を行 は け	う要と	の定義 前前年度 評 する資 が低	事事の事討総価金増調 の規直の必評ト価値にしあ 性	模し統要価整利たる・が合料理で。。	容要休・月 04 後 る	ミ施主体 廃止の検 A 030209
( C H E C K ) 改革·改	路 題 総合評価 今後	た。 <b>勤で平が</b> 前 成果	田安心機関に10月に推移した		を見 活要のた ひるあ直、	<b>策</b> にる。 にる。 を行	利用 必 デ t を い は 和	評 書が 開 が 傾 実 施	をおります。	<b>西</b> した。	情 以降、 施前	ことが	が 勤で平が	労き成順 丁年	細安心し関10月にし 細施 施 無細 施 無細	施生の皮を対して、策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	舌する あで見 たが、 価 に ;	策 には必 る。 を行 は け	う要と	の定義 前前年度 評 する資 が低	事事の事討総価金増調 の規直の必評ト価値にしあ 性	模し統要価整利たる・から判理で。。	容要休・月 04 後 る	ミ施主体 廃止の検 A 030209
( C H E C K ) 改革·改善	問題 総合評価 今後の	た。 <b>勤</b> で平が順前 成	は 大田 で 大田 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	月状 施生必度き 施	を見 活要のた ひるあ直、	<b>策</b> にる。 にる。 を行	り用し 必要と かれ かまま できる	評 書が 開 が 傾 実 施	ない を は は は は は は は は は は は は は は は は は は	<b>西</b> 氏利で した。 ある。	行 前り降 施 前 ⑦	ことが	<b>必要。</b> が <b>勤で平が</b> 「  「  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「  」  「	・	田安心機にして 地域 がままれる 地域 がままま はままま はままま はままま はままま はまままま はまままままままま	た 生必度され 一	舌する あで見 たが、 価 に ;	策 には必 る。 を行 は け	う要と	の定義 前前年度 評 する資 が低	事事の事討総価金増調 方の規直の必評ト価値にしる 性価値	模し統要価整利たる・から判理で。。	容要休・月 04 後 る	ミ施主体 廃止の検 A 030209
( C H E C K ) 改革·改善	路 題 総合評価 今後	た。 <b>勤で平が順前</b> 成果の方向	を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		を 見 すで見が 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	<b>策</b> にる。 にる。 を行	り用しめでいます。	評 書が 開 が 傾 実 施	の制度 を	<b>西</b> 氏利で した。 ある。	行 前 り降、 施 前 ⑦	ことが	<b>数で平が</b> 前 !!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!	・ 対金年に 度 ・	田安融 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	施生必度を 評 施 九 持 小	舌する あで見 たが、 価 に ;	策 には必 る。 を行 は け	う要と	の定義 前前年度 評 する資 が低	事事の事討総価金増調 方の規直の必評ト価値にしる 性価値	模し統要価整利たる・から判理で。。	容要休・月 04 後 る	ミ施主体 廃止の検 A 030209
( C H E C K ) 改革·改善	問題 総合評価 今後の方	た。 <b>勤で平が順前</b> 成果の方向	は 大田 で 大田 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		を見 活要のた ひるあ直、	<b>策</b> にる。 にる。 を行	り用し 必要と かれ かまま できる	評 書が 開 が 傾 実 施	ない を は は は は は は は は は は は は は は は は は は	<b>西</b> 氏利で した。 ある。	行 前り降 施 前 ⑦	ことが	<b>数で平が</b> 前 !!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!	・ 対金年に 度 ・	田安心機にして 地域 がままれる 地域 がままま はままま はままま はままま はままま はまままま はまままままままま	施生必度を 評 施	舌する あで見 たが、 価 に ;	策 には必 る。 を行 は け	う要と	の定義 前前年度 評 する資 が低	事事の事討総価金増調 方の規直の必評ト価値にしる 性価値	模し統要価整利たる・から判理で。。	容要休・月 04 後 る	ミ施主体 廃止の検 A 030209
( C H E C K ) 改革・改善の方向	№ 題 総合評価 今後の方向	た。 <b>勤で平が順前</b> 成果の方向	を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		を 見 すで見が 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	<b>策</b> にる。 にる。 を行	り用し 必要と かれ かまま できる	評 書が 開 が 傾 実 施	い制度 6 6 6 8 8	<b>西</b> 氏利で した。 ある。	行 前り降 施 前 ⑦	ことが	<b>数で平が</b> 前で平が	・ 対金年に 度 ・	田安融 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	施生必度を 評 施	舌する あで見 たが、 価 に ;	策 には必 る。 を行 は け	う要と	の定義 前前年度 評 する資 が低	事事の事討総価金増調 ちの規直の必評ト価値低しあ 性価値	快い統会 利理番 でんしん としん できない たいから 利理番 でんしん としん できない たいしょう しょう しょう しょう しょう しょう しゅうしゅう しゅう	容要休・月 04 後 る	ミ施主体 廃止の検 A 030209
( C H E C K ) 改革·改善	問題 総合評価 今後の方	た <b>勤で平が</b> 前 成果の方向性 <b>大</b>	を も	月状 である	を 見すで見が ・ で で で で で で で で で で で で で	<b>策</b> は。を年度 は。るるし今 <b>策</b> は。るるし今 <b>第</b> <b>策</b>	利用 必 デな で ② ② ③ ④ 縮ト	神子 は	<b>育金を加しま</b> (5) (6) (8) 現れの	上して	行 <b>前</b> る、 <b>実 前</b> ⑦ ⑨ ⑩ 拡 巾	とが。	<b>数で平が</b> 前	・ 対金年に 度 ・	田安融 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	施生必度を 評 施	舌する 要の見が、 価 に さ	<b>策</b> にる。を行り <b>策</b> ( ) <b>策</b> ( ) <b>策</b> ( )	る 今 縮	の定義前前野子の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の	事事の事計総価・金・増調 ちの規直の必評ト価値にしあ 性価値し	模し統要価整利 たる。 ・が合料理番で。。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	容要休・月 04 後 5 04	<b>E</b> 施主体 A 030209 1 ことが 大
( C H E C K ) 改革・改善の方向性(A	№ 題 総合評価 今後の方向	た <b>勤で平が</b> 前 成果の方向性 <b>労</b>	地位 安徽 10 样 度 日本	大	を <b>「活要のた</b> さ <b>「おををするが」</b> で見が ながすで見が で見が ですで見が ですをするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがある。	<b>策</b> は。を年 は。を年 <b>策</b>	利 ア ア ア ア ア ア ア の の の の の の の の の の の の の	かず 計画 大学 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<b>育が話</b> <b>育が話</b> (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	と <b>西班</b> しあ 兄 <b>五</b> 大) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	行 <b>前</b> る、 <b>実 前</b> ⑦ ⑨ ⑩ 拡 巾	とが。	<b>数で平が</b> 前 リー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	労き成順 「	田安融(10) 推 細 田 拡 現 縮 休 安定 に は な は な か ま か ま ま か ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	たが制て 策 充 持 小 止 た 生生	活要の たが に に を 支	策にるし今 にるし今 け 策 減 ス る く 大 り し た り し た り り り り り り り り り り り り り り	る を を を を を を を を を を を を を	の定義前前野する者が低ののとなる。	事事の事計総価・金・増調・方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	関係の である は 単	容要休 : 号 り 降	関係主体 検 030209 大 も
( C H E C K ) 改革・改善の方向性(AC	№ 題 総合評価 今後の方向性	た <b>勤で平が</b> 前 成果の方向性 <b>労</b>	地位 安徽 10 样 度 日本	大	を <b>「活要のた</b> さ <b>「おををするが」</b> で見が ながすで見が で見が ですで見が ですをするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがある。	<b>策</b> は。を年 は。を年 <b>策</b>	利 ア ア ア ア ア ア ア の の の の の の の の の の の の の	かず 計画 大学 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<b>育が話</b> <b>育が話</b> (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	と <b>西班</b> しあ 兄 <b>五</b> 大) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	行 <b>前</b> る、 <b>実 前</b> ⑦ ⑨ ⑩ 拡 巾	とが。	<b>数で平が</b> 前	対き成順	田安融10推 細田 拡 現 縮 休 安者 しの	たなが制て 策 充 持 小 止 た本事	舌要の見が、価にできる。	策 にるし今 は 策 減ス する R	<b>夢</b> 要 い 未 和 ト た <b>初</b> ト た <b>初</b>	の定義 前前 評す 年度 1	事事の事討総画・金増調・方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	模し統要 価 整 利 たる … 推 しるめ、 から 料理 で 。。	容要休 : 号 り 降	関係主体 検 030209 大 も
( C H E C K ) 改革・改善の方向性(ACT	№ 題 総合評価 今後の方向性 改	た <b>勤で平が</b> 前 成果の方向性 <b>大</b>	地位 安徽 10 样 度 日本	大	を <b>「活要のた</b> さ <b>「おををするが」</b> で見が ながすで見が で見が ですで見が ですをするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがある。	<b>策</b> は。を年 は。を年 <b>策</b>	利 ア ア ア ア ア ア ア の の の の の の の の の の の の の	かず 計画 大学 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<b>育が話</b> <b>育が話</b> (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	と <b>西班</b> しあ 兄 <b>五</b> 大) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	行 <b>前</b> る、 <b>実 前</b> ⑦ ⑨ ⑩ 拡 巾	とが。	<b>数で平が</b> 前	対き成順	田安融10推 細田 拡 現 縮 休 安者 しの	たなが制て 策 充 持 小 止 た本事	舌要の見が、価にできる。	策 にるし今 は 策 減ス する R	<b>夢</b> 要 い 未 和 ト た <b>初</b> ト た <b>初</b>	の定義前前野する者が低ののとなる。	事事の事討総画・金増調・方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	模し統要 価 整 利 たる … 推 しるめ、 から 料理 で 。。	容要休 : 号 り 降	関係主体 検 030209 大 も
( C H E C K ) 改革・改善の方向性(ACTI	№ 題 総合評価 今後の方向性 改革・	た <b>勤で平が</b> 前 成果の方向性 <b>労</b>	地位 安徽 10 样 度 日本	大	を <b>「活要のた</b> さ <b>「おををするが」</b> で見が ながすで見が で見が ですで見が ですをするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがある。	<b>策</b> は。を年 は。を年 <b>策</b>	利 ア ア ア ア ア ア ア の の の の の の の の の の の の の	かず 計画 大学 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<b>育が話</b> <b>育が話</b> (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	と <b>西班</b> しあ 兄 <b>五</b> 大) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	行 <b>前</b> る、 <b>実 前</b> ⑦ ⑨ ⑩ 拡 巾	とが。	<b>数で平が</b> 前	対き成順	田安融10推 細田 拡 現 縮 休 安者 にの し関にし	たなが制て 策 充 持 小 止 た本事	舌要の見が、価にできる。	策 にるし今 は 策 減ス する R	<b>夢</b> 要 い 未 和 ト た <b>初</b> ト た <b>初</b>	の定義 前前 評す 年度 1	事事の事討総画・金増調・方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	模し統要 価 整 利 たる … 推 しるめ、 から 料理 で 。。	容要休 : 号 り 降	関係主体 検 030209 大 も
( C H E C K ) 改革・改善の方向性(ACTIO	□ 題   総合評価   今後の方向性   改革 · 改	た <b>勤で平が</b> 前 成果の方向性 <b>労</b>	地位 安徽 10 样 度 日本	大	を <b>「活要のた</b> さ <b>「おををするが」</b> で見が ながすで見が で見が ですで見が ですをするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがある。	<b>策</b> は。を年 は。を年 <b>策</b>	利 ア ア ア ア ア ア ア の の の の の の の の の の の の の	かず 計画 大学 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<b>育が話</b> <b>育が話</b> (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	と <b>西班</b> しあ 兄 <b>五</b> 大) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	行 <b>前</b> る、 <b>実 前</b> ⑦ ⑨ ⑩ 拡 巾	とが。	<b>数で平が</b> 前	対き成順	田安融10推 細田 拡 現 縮 休 安者 にの し関にし	たなが制て 策 充 持 小 止 た本事	舌要の見が、価にできる。	策 にるし今 は 策 減ス する R	<b>夢</b> 要 い 未 和 ト た <b>初</b> ト た <b>初</b>	の定義 前前 評す 年度 1	事事の事討総画・金増調・方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	模し統要 価 整 利 たる … 推 しるめ、 から 料理 で 。。	容要休 : 号 り 降	関係主体 検 030209 大 も
( C H E C K ) 改革・改善の方向性(ACTI	№ 題 総合評価 今後の方向性 改革・	た <b>勤で平が</b> 前 成果の方向性 <b>労</b>	地位 安徽 10 样 度 日本	大	を <b>「活要のた</b> さ <b>「おををするが」</b> で見が ながすで見が で見が ですで見が ですをするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがある。	<b>策</b> は。を年 は。を年 <b>策</b>	利 ア ア ア ア ア ア ア の の の の の の の の の の の の の	かず 計画 大学 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<b>育が話</b> <b>育が話</b> (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	と <b>西班</b> しあ 兄 <b>五</b> 大) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	行 <b>前</b> る、 <b>実 前</b> ⑦ ⑨ ⑩ 拡 巾	とが。	<b>数で平が</b> 前	対き成順	田安融10推 細田 拡 現 縮 休 安者 にの し関にし	たなが制て 策 充 持 小 止 た本事	舌要の見が、価にできる。	策 にるし今 は 策 減ス する R	<b>夢</b> 要 い 未 和 ト た <b>初</b> ト た <b>初</b>	の定義 前前 評す 年度 1	事事の事討総画・金増調・方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	模し統要 価 整 利 たる … 推 しるめ、 から 料理 で 。。	容要休 : 号 り 降	関係主体 検 030209 大 も
( C H E C K ) 改革・改善の方向性(ACTION)	□ 題   総合評価   今後の方向性   改革・改善策	た <b>勤で平が</b> 前 成果の方向性 <b>労</b>	日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本		を <b>「活要のた</b> さ <b>「おををするが」</b> で見が ながすで見が で見が ですで見が ですをするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがある。	が (	利	・ 神の	<b>育が話</b> <b>育が話</b> (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	と <b>断低しあ</b> 兄 <b>断</b> 大) <b>売</b> く で で で で で か か 大) <b>売</b> く で で で で で か か か か か か か か か か か か か か	行	とが。	<b>数で平が</b> 前	対き成順	田安融10推 細田 拡 現 縮 休 安者 にの し関にし	てが制て 策   充 持 小 止   た本が   生事ら、   生事ら、	舌要の見が、価にできる。	策 にるし今 は 策 減ス する R	<b>夢</b> 要 い 未 和 ト た <b>初</b> ト た <b>初</b>	の定義前前野すすり用用後野野の大大をでは、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切	事事の事討総 画金 増調 方 親	模し統要価 整 利 たる 上 / 維 方 しる。 トが合 判理 で 。。 上 / 推 方 しる。	容要休 : 号 り 降	関係主体 検 030209 大 も

事系	务事等	[名	茅野市勤労	者互!	助会週	営補	助事:	業							事業期間	引 平成		~		年度	き 整	<b>性理番</b>	号	04030	337
担	当 部	署	産業経済部			商.	工課				工業党	<b>党政係</b>			作成担当	4者名	小	平	昌	紀		連絡先	5	433	3
	#	E.	プランに					政施	策		第41 第61	_			きやすく 材の育成		てみた	:い緑	のま	ちづく	y				
			位置づけ	有	政员	(本	系 -	細施					事業の		17 42 17 18	<u> </u>									
							-	事務事							補助事業	<u> </u>									
計	予	算	事 業 名													会計	コード	001	款	05	項	01	目 0	1 事業	02
画	事	答事	· 業の概要 _{わかりやすく)}	はかる。	いるこ	とを活	動の	目的。	とする	茅野市	勤労	者互助	协会の	福利厚生	事業所等 事業等(	こ供する	るため	、事業	費・	運営	<mark>費</mark> の	支援	(補助	<b>か)を</b> *	す
			と背景うして)	交道 る。 る。	網やこう	自家用 したた	車σ めか	)普及( )、企	こより 業の加	、職場  入率が	でま <b>(減少</b>	とまっしてき	た活動でいる	助よりも る。 <u>互</u> 助	、家族 ]会の意	単位で( 養や活!	の福利 MのP	享生活 Rに多	動が	好ま 員拡:	れる 大を	傾向に 図って	こなり	)つつ (必要	あ があ
	目	対	受益者	茅里		労者互																			
P		象	対象 (直接働きかける)			労者互																			
	的	(どん	意図	茅野	市内	の事業	所等	ドに勤る	<b>勝する</b>	従業員	の福	利増進	進と経済	斉的地位	の向上を	をはかれ	いるよ	うにな	る。						
L				茅里	市勤!	労者互	助会	が実	施する	各種の	事業	に対し	ノ補助:	金を交付	ける。										
			・ 方 法 やって)																						
Α																									
			行政活動の	結果:	からつ	くり	だす	ものは	何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・言	†算式	・ 目 相	票値設	定の	考え	方な	ど 最	と終日:	標値
N	評	活動	会員企業数							企業数	t			社	前年度	企業数	Į.								38
	価指	指標	会員数							会員数	ĭ			人	前年度	会員数	Į.							;	349
	標の																								
	作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・言	†算式	・目根	票値設	定の	考え	方な	ど 振	<b>終目</b>	標値
	成	果指	福利厚生事	業へ	の参加	1者数				主要事	業へ	の参加	人数	人	前年度	参加人	.数								122
		標																							

	Į		目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度事業計画(予算)
	-	事業 費等	/-\	m	1 000 000	1 000 000	1 000 000		
			(a)	H	1, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000
_	財		金 金	円円					
実	源	<u>県 支 出</u> 地 方	債	円					
	内	その他特定財		円					
	訳	一般財	源	円	1, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000
施		正規職	員	· ·	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
	職	属託職	員	Ţ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	員	臨 時 職	員	Ĵ	0, 75	0. 75	0. 75	0, 75	0.80
	数	<u></u> 合	計	Ţ	0.80	0. 80	0.80	0.80	0. 85
状	3	対象 (者)	数	Ĵ	3.00	3,00	3.00	3.00	5, 66
			(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況	, J.	受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス	٠ <b>١</b>	円	18.00	18.00	18. 00	18.00	52. 00
			目標	社	40	40	40	38	38
		企業数	実績		39	38	38	38	38
	活		達成率	%	97. 50	95. 00	95. 00	100.00	100.00
	動		目標	人	422	370	370	349	354
	動指	会員数	実績		370	365	349	354	354
D	標		達成率	%	87. 68	<b>98. 65</b>	94. 32	101. 43	100.00
	JAK		目標	_					
		_	実績	0.4					
			達成率	%			120		103
0	成	主要事業への参加人数	目標 実績	人	105	105	120	103	103
	果	土安争来への参加人致	<u>夫</u> 根	%	88, 98	115, 24	101, 67	84, 43	100, 00
	木指		目標	9/0	00. 90	110. 24	101. 07	04. 43	100.00
$\overline{}$	担標	_	実績	_					
	尓		達成率	%	_	_		_	_
			足水牛	/0					
	備								
	考								
	,								

10		業名 茅里			即宏連						-			業期間			~		年度			040	
担	当部	署 産業	経済	<b>B</b>		商	工課			工業労政	<u>係</u>		11	成担当	者名	小	平	昌	紀	連絡	∳先		<del>1</del> 33
	期				標						実	績							課	題			
		·互助会	ΛPP.																				
	第	·理事会	·評議	こかへ	開催進	: ■備及で	び開催			Rチラシ			邪)			-互助:	会のカ	1入促	進				
四	1	<ul><li>親睦旅</li></ul>	行の企	画					・理事会・	評議貝伝 合付及びi			田类生	交付		独自							
	期	•保険金	給付及	び提携	<b>隽施設</b>	利用助	成事業		- 体决亚州		Æ175 /IL	נידאמנ	ता <i>क्र</i> च	Z III									
半	第	•互助会	<b>ADD</b>	Lider 7	<b>л/ш</b> ж				•親睦旅行	- <b>一 - 1   1</b>	70 =	·	·**- 10	u* L or	4								
+	2	・ 親睦旅							·保険金約						101	-互助:	<del>魚</del> のカ	1入保	准				
	期	・保険金				利用助	成事業			作 人会				~				.,,,,					
期																							
	第	•互助会	のPR	と加入	の促進				・親睦旅行	テの開催(	12月]	東京デ	<b>・</b> ィズニー「	<b>リゾート</b> :	38名								
	3	親睦旅					-8-4-46							の旅 3	0名)	•互助	会のカ	1入促	進				
'n	期	·保険金	お付め	ひ提	<b>房</b> .他設定	村用助	<b>灰</b>		·保険金約	合付及び	是愣准	設利	用券等	父付									
	A-A-				- 1																		
	第 4	<ul><li>互助会</li><li>保険金</li></ul>					- 中本		•保険金約	ል <del>ተ</del> ተ ሙ ተርተ	担接地	· 元 子()	田坐生	*#		•互助	会のカ	1入促	進				
٤	期	·次年度	押削さる	画策を	を心改さ	門流場	会等準	備	* 体决亚州	מיט אל ניום	<b>产75</b> 加	とおれてリ	⊓ <del>अच</del>	נו א		•独自	事業の	)企画	立案				
	741		•																				
_O										•	中	評	価										
									と問題点や				或 拡	<b>五</b>	5		(	2		<b>⑤</b>		7	
							の方法等	<b>等加入</b>	促進を図り	り、会員数	女の	<u>,</u>	果	1 ñ	 E		j		······································				
管	增加	ひと独自 事	来の	4条が	必要で	める。					-	,,·	状維持	t 			3		6	レ	9		
												方 編 句	引	`		(	4		8		110		
_		新年	度の	実施計	■・	予算要	求事項	[ (改	革・改善	策)			· 廃 业	: (1	D								
理									茅野市内		. [		. //			<b>.</b> .				"			
							地位の	向上を	とはかるた	め、引き	焼き	向		/	ŧ	晢	減	縮	小	現状約	辪	拡	大
	<del>*</del> *	・ 運営	黄のメ	く抜く相	期)を	9 0.						性	/			⊐	ス	<b> </b>	投 入	、の	方	向	性
	_																						
	Ī	評価年度		<u> </u>	4年度																		
	袳	見点		妥	当		性		有	効	性			効	率	1	生		総合	字 評	価	判	定
評	評価	5の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3 4	1	判定	1	2	3	4	判定	2					
at .	チ	ェック					4					4					4			4	A		
		労働組合	が未	組織で	あった	9.1	固人事業	きまとり	いった茅里	野市内の	事業別	近等に	勤務す	る従業	員の神	福利増:	進と紀	_		計画どお		業を進	₤めるこ
		済的地位	なの向.	上をは	かる他	の事	業はない	١,												とが適当		ı – ¬Ь ⇒	±⊥≬≳v ==
価	課	PR等?	行い	会員の	拡大が	必要。	,主事業	であっ	る年2回 加者が少な	(7月、	12月	引) の h 66t か	日帰り	旅行は	、会員	員の親	産と作る	σ		事未の選 事業規模			きが必要 ≷施主体
		和义揆等	テリンキョ	200	夫爬し		8 A' . 12	L+190/	加付か少な	よいため	<b>、</b> 施力	יף, נגש ני	ומנואווי	<b>四で1</b> 1	7 923	# W. 00	<b>o</b> .	定	<u> </u>	の見直し	が必	要	
(	題																	義		事業の 計が必要		不・ 彦	産止の検
С																			1 1	ショル・火ンタ	E 401 E	$\overline{}$	
	起																	Î		総合評価	世判疋	:	Α
н	咫																		前年度網				
			<del>細</del>	施	j	策	ī	<b>评</b>	価	前			細		施		<b>策</b>	前	前年度網	総合評価			
	<i>41</i> \		•••		<u> </u>				価 いった茅野		事業所	所 労働						前	前年度終 年度評値 <b>评</b>	総合評値 動シート製 <b>価</b>	整理番	号 04 <b>後</b>	030210
E	総	労働組合 等に勤和	が未続する	組織で 従業員	あった の福利	り、個単進を	固人事業 と経済的	き主と( 対地位(		野市内の		ト 等に	り組合が こ勤務で	パ未組織 トる従業	であ	ったり 福利増	、個.	前 人事第 経済的	前年度紀 年度評価 <b>評</b> <b>とこ</b> り地位の	総合評価 エシートを <b>価</b> ハったま	整理番号	号 04 <b>後</b>	030210
	総	労働組合	が未続する	組織で 従業員	あった の福利	り、個単進を	固人事業 と経済的	き主と( 対地位(	いった茅	野市内の		ト 等に	り組合が こ勤務で	(未組織	であ	ったり 福利増	、個.	前 人事第 経済的	前年度紀 年度評価 <b>評</b> <b>とこ</b> り地位の	総合評価 エシートを <b>価</b> ハったま	整理番号	号 04 <b>後</b>	030210
E	総合	労働組合 等に勤和	が未続する	組織で 従業員	あった の福利	り、個単進を	固人事業 と経済的	き主と( 対地位(	いった茅	野市内の		ト 等に	り組合が こ勤務で	パ未組織 トる従業	であ	ったり 福利増	、個.	前 人事第 経済的	前年度紀 年度評価 <b>評</b> <b>とこ</b> り地位の	総合評価 エシートを <b>価</b> ハったま	整理番号	号 04 <b>後</b>	030210
С	総	労働組合 等に勤和	が未続する	組織で 従業員	あった の福利	り、個単進を	固人事業 と経済的	き主と( 対地位(	いった茅	野市内の		ト 等に	り組合が こ勤務で	パ未組織 トる従業	であ	ったり 福利増	、個.	前 人事第 経済的	前年度紀 年度評価 <b>評</b> <b>とこ</b> り地位の	総合評価 エシートを <b>価</b> ハったま	整理番号	号 04 <b>後</b>	030210
	総合評	労働組合 等に勤和	が未続する	組織で 従業員	あった の福利	り、個単進を	固人事業 と経済的	き主と( 対地位(	いった茅	野市内の		ト 等に	り組合が こ勤務で	パ未組織 トる従業	であ	ったり 福利増	、個.	前 人事第 経済的	前年度紀 年度評価 <b>評</b> <b>とこ</b> り地位の	総合評価 エシートを <b>価</b> ハったま	整理番号	号 04 <b>後</b>	030210
С	総合	労働組合 等に勤和	が未続する行うの	組織で 従業員	あった の福和 が果た	: り、(    増進  : す役	固人事業 と経済的	美主と( 対地位( きい。	いった茅野 の向上を(i	野市内の	業はタ	<b>特 等!</b> にな	動組合が 動務で いたと	パ未組織 トる従業	き員の	ったり 福利増 果たす	、個. 進と 役割	人事が経済的は大き	前年度系 年度評価 <b>評</b> <b>終主とし</b> <b>り地位</b> <b>ら</b>	総合評価 価 いったま の向上を	を理番号 おおい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい	号 04 <b>後</b>	030210
с к )	総合評価	労働組合等に勤烈にないた	おおおお	祖織業事	あった の福和 が果た	当地と	個人事業 と経済的 制は大き	建主と() 地位() きい。	いった茅野の向上を(	野市内のはかる事	業はタ	<b>特 等!</b> にな	助組合が ・動務で ないたも	が未組織 ける従業 か、本導 細施策	はであの 学	ったり 福利増 果たす	、個。 <b>後割</b> ける	人事的は大き	前年度紹 年度評価 <b>評</b> <b>注主とし</b> を <b>かい</b> 。	総合評価 Manual Manual M	を理番号 おおい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい	号 04 <b>後</b> <b>内の</b> <b>ふ事</b>	030210
С	総合評	労働組合等にあった。	度改	祖織業事	あった の福和 が果た	: り、(    増進  : す役	個人事業 と経済的 創は大き	美主と( 対地位( きい。	いった茅りの向上をは 状況 価	野市内のはかる事	業はタ	前	地組数ではいた。 年度 細	が未組織 ける従事 か、本事	で員業 評価	ったり 福利増 果たす	、個. 進と 役割	人事的は大き	前年度系 年度評価 <b>評</b> <b>終主とし</b> <b>り地位</b> <b>ら</b>	総合評価 <b>価</b> いった上 う 向 性	を理番号 おおい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい	号 04 <b>後</b>	030210
C K ) 改革・	総合評価	労働組合等に動いた	おおおお	祖織業事	あった の福和 が果た	当地と	個人事業 と経済的 制は大き	建主と() 地位() きい。	いった茅野の向上を(	野市内のはかる事	業はタ	前	か組織を はいた 年度 細	が未組織 ける従事 か、本事	で員業 評価	ったり 福利増 果たす	、個。 <b>後割</b> ける	人事的は大き	前年度紹 年度評価 <b>評</b> <b>注主とし</b> を <b>かい</b> 。	総合評価 Manual Manual M	を理番号 おおい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい	号 04 <b>後</b> <b>内の</b> <b>ふ事</b>	030210
C K ) 改革·改	総合評価今後	労働組制を	度改	祖織業事	あった の福和 が果た	当地と	個人事業 と経済的 創は大き	建主と() 地位() きい。	いった茅りの向上をは 状況 価	要施 前 ⑦	業はタ	前成果	地組合なる。 年度 細胞・ 年度	が未組織 ける従事 か、本事	であのが評価	ったり 福利増 果たす	、個。 <b>後割</b> ける	人事的は大き	前年度紹 年度評価 <b>評</b> <b>注主とし</b> を <b>かい</b> 。	総合評価 <b>価</b> いった上 う 向 性	を理番号 おおい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい	号 04 <b>後</b> <b>内の</b> <b>ふ事</b>	030210
C K ) 改革·改善	総合評価今後の	労働組合等に動いた	がまる。 度細拡現状	祖従本事革施・	あった の福和 が果た	当地と	固人事業と と経済的は大き の 実 に ② ③	建主と() 地位() きい。	いった <b>茅</b> 野の向上を li 状 況   <b>価</b>	野市内の はかる事 <b>実施</b> 前 ⑦ ③	業はタ	<b>計</b> 前 成	は 年度 細 担 サ	が未組織する 本本 第	であのが一評価	ったり 福利増 果たす	、個。 <b>後割</b> ける	人事的は大き	前年度紹 年度評価 <b>評</b> <b>注主とし</b> を <b>かい</b> 。	総合評価 <b>価</b> いった上 う 向 性	を理番号 おおい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい	号 04 <b>後</b> <b>内の</b> <b>ふ事</b>	030210
C K ) 改革·改善	総合評価今後	一	が す が す め 度 細 拡 現 縮	祖 従 本	あった の福果た ・ 改	当地と	固人事業的と割は大き	建主と() 地位() きい。	いった茅りの向上を に 状況 価	実施 アラ	業はタ	<b>等に</b> 前 成果の方向	動制動かたを を を を を を を を を を を を を を	が未組織する (本事) おおお (本本事) おおお (本本事) おおお (本本事) おおお (本本) おおま (本本) また (本本) ま	であのが 評価 施	ったり 福利増 果たす	、個。 <b>後割</b> ける	人事的は大き	前年度紹 年度評価 <b>評</b> <b>注主とし</b> を <b>かい</b> 。	総合評価 <b>価</b> いった上 う 向 性	を理番号 おおい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい	号 04 <b>後</b> <b>内の</b> <b>ふ事</b>	030210
C K ) 改革·改善	総合評価 今後の方	労等に 前 成果の方	がまる。 度細拡現状	祖 従 本	あった の福和 が果た	当地と	固人事業と と経済的は大き の 実 に ② ③	建主と() 地位() きい。	いった <b>茅</b> 野の向上を li 状 況   <b>価</b>	野市内の はかる事 <b>実施</b> 前 ⑦ ③	業はタ	<b>等に</b> 前 成果の方	動制動かたを を を を を を を を を を を を を を	が未組織する 本本 第	であのが 評価 施	ったり 福利増 果たす	、個。 <b>後割</b> ける	人事的は大き	前年度紹 年度評価 <b>評</b> <b>注主とし</b> を <b>かい</b> 。	総合評価 <b>価</b> いった上 う 向 性	を理番号 おおい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい	号 04 <b>後</b> <b>内の</b> <b>ふ事</b>	030210
C K ) 改革·改	総合評価 今後の方向	一	が す が す め 度 細 拡 現 縮	祖 従 本	あった の福果た ・ 改	当地と	図人経済大き まま で で で で で で で で で で で で で で で で で で	集主とり 地位の に 施 ア	状       価       5       6     レ       3       現状維持	野市内の はかる事 前 ⑦ ③ 10	業はタ	<b>等に</b> 前 成果の方向性	動制動かたを を を を を を を を を を を を を を	が未組織する (本事) おおお (本本事) おおお (本本事) おおお (本本事) おおお (本本) おおま (本本) また (本本) ま	であのが  ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ったり福利増果たす	、進役はおり、	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	有年度評価 年度評価 年度評価 <b>後</b> かい。 を す	総合評価 し 現状 紙	を   野市か   ・    ・    ・    ・    ・    ・    ・	号 04 <b>後</b> <b>内の</b> <b>(本)</b>	030210
C K ) 改革・改善の方向性(	総合評価 今後の方	動組動       が等に       前       成果の方向性	きますめ、 度 細 拡 現 縮 体	祖雄掌事革施	<ul><li>・ 改</li><li>・ 改</li><li>「]</li><li>皆</li></ul>	- リ、 (連進・) (単進・) (	図と割は 大き事所ときる。 「他のでは、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、」では、「は、」では、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、は、は、は、	を主とり 地位 に 施 ア	状     価       5     6     レ       3     現状維持	野市内の はかる事 前 ⑦ ③ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	済大生	<b>*                                      </b>	<b>助組合</b>	が未組織 する(本本) 施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	東で長が 施 評価	ったり増果たす にお ここと おしま ここと おしま ここと おしま ここと おしま ここと こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう しゅうしゅう しゅう	(値と割) はる (は)	前 事事 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	が年度 年度評価 年度評価 を対しい。 を対しい。 を対しい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がし。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がし。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がし。 がし。 がし。 がし。 がし。 がし。 がし。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がし。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。	総合評価 のつたまで のの向上で のの向上で 現状系の	を	Red   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   10	- 本業所 業は外 大生
C K ) 改革・改善の方向性(A	総合評価 今後の方向性 改	動組動       が等に       前       成果の方向性	きますめ、 度 細 拡 現 縮 体	祖雄掌事革施	<ul><li>・ 改</li><li>・ 改</li><li>「]</li><li>皆</li></ul>	- リ、 (連進・) (単進・) (	図と割は 大き事所ときる。 「他のでは、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、」では、「は、」では、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、は、は、は、	を主とり 地位 に 施 ア	状       価       5       6     レ       3       現状維持	野市内の はかる事 前 ⑦ ③ ・	済大生	<b>等に</b> 前 成果の方向性 <b>事</b>	<b>助制的</b> 動かた 度 細 が を を を を を を を を を を を を を	が未組織する (本事) おおお (本本事) おおお (本本事) おおお (本本事) おおお (本本) おおま (本本) また (本本) ま	東で長が 施 評価	ったり増果たす にお ここと おしま ここと おしま ここと おしま ここと おしま ここと こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう しゅうしゅう しゅう	(値と割) はる (は)	前 事事 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	が年度 年度評価 年度評価 を対しい。 を対しい。 を対しい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がし。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がし。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がし。 がし。 がし。 がし。 がし。 がし。 がし。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がし。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。 がしい。	総合評価 のつたまで のの向上で のの向上で 現状系の	を	Red   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   104   10	- 本業所 業は外 大生
C K ) 改革・改善の方向性(AC	総合評価 今後の方向性	労等に     前     成果の方向性     事る	を持ちめ 度 細 拡 現 縮 休 機械 し	田  ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<ul><li>・ 改</li><li>・ 改</li><li>事業者</li></ul>	り、進進を事業を表現している。	図と割は を を を の の の の の の の の の の の の の	東主と位 地位の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	状     価       5     6     レ       3     現状維持	野市内の はかる事 前 ⑦ ③ ・	済大生	等に 前 成果の方向性 (事る)	動制動い 年 年 田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	が未組織 する (本本) 第一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年	である。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ったり増えたす ここ お ここ	(進役) けまる 減 福	「前	前年度 年度 年度 評定 1年度 1年度 1年度 1年度 1年度 1年度 1年度 1年度	総合 一 に に に に に に に に に に に に に	整 事 事 市 市 か	Red   104	- 本業所 業は外 大生 があ
С K ) 改革・改善の方向性(ACT	総合評価 今後の方向性 改革・	動組動       が等に       前       成果の方向性	を持ちめ 度 細 拡 現 縮 休 機械 し	田  ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<ul><li>・ 改</li><li>・ 改</li><li>事業者</li></ul>	り、進進を事業を表現している。	図と割は を を を の の の の の の の の の の の の の	東主と位 地位の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	状     価       5     6     レ       3     現状維持	野市内の はかる事 前 ⑦ ③ ・	済大生	ト 成果の方向性 (事る市)	助制動い 年 組 担 型 糸 ク を に は ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	が未組織 する(本本) 施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	また 一本	っ福果 にお ま こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ	(進役) は (本)	「前 「「「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」	前年 <b>評主地</b> い。 を <b>評</b> 小投を 業	総 会 合 一 他 た 上 性 他 し 現 の で し 、 し 、 し 、 し し 、 し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に に に に に に に に に に に に に	聖 野 お お お お た に と と と に と に と に に に に に に に に に に に に に	R	030210 事業所外 大 生が 等を積
С K ) 改革・改善の方向性(ACTI	総合評価 今後の方向性 改革	労等に     前     成果の方向性     事る	を持ちめ 度 細 拡 現 縮 休 機械 し	田  ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<ul><li>・ 改</li><li>・ 改</li><li>事業者</li></ul>	り、進進を事業を表現している。	図と割は を を を の の の の の の の の の の の の の	東主と位 地位の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	状     価       5     6     レ       3     現状維持	野市内の はかる事 前 ⑦ ③ ・	済大生	特に 前   成果の方向性   事る市極   事る市極	助は動い 年 組 担 到 糸 々 一 継 は にに と は は し は し に し に し に し に し に し に し に し に	「木組織学事を集をして、大・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1000000000000000000000000000000000000	っ福果 にを 常 未図 コの 加る	(進役) は (本)	「前 「「「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」	前年 <b>評主地</b> い。 を <b>評</b> 小投を 業	総 会 合 一 他 た 上 性 他 し 現 の で し 、 し 、 し 、 し し 、 し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に に に に に に に に に に に に に	聖 野 お お お お た に と と と に と に と に に に に に に に に に に に に に	R	030210 事業所外 大 生が 等を積
С К ) 改革・改善の方向性(ACTIO	総合評価 今後の方向性 改革・改善	労等に     前     成果の方向性     事る	を持ちめ 度 細 拡 現 縮 休 機械 し	田  ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<ul><li>・ 改</li><li>・ 改</li><li>事業者</li></ul>	り、進進を事業を表現している。	図と割は を を を の の の の の の の の の の の の の	東主と位 地位の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	状     価       5     6     レ       3     現状維持	野市内の はかる事 前 ⑦ ③ ・	済大生	特に 前   成果の方向性   事る市極   事る市極	助は動い 年 組 担 到 糸 々 一 継 は にに と は は し は し に し に し に し に し に し に し に し に	水表組織業事       大きの       施       大きの	1000000000000000000000000000000000000	っ福果 にを 常 未図 コの 加る	(進役) は (本)	「前 「「「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」	前年 <b>評主地</b> い。 を <b>評</b> 小投を 業	総 合 一 に に に に に に に に に に に に に	聖 野 t は 持 方 に い ら ら に に に に に に に に に に に に に	R	030210 事業所外 大 生が 等を積
С K ) 改革・改善の方向性(ACTI	総合評価 今後の方向性 改革・改	労等に     前     成果の方向性     事る	を持ちめ 度 細 拡 現 縮 休 機械 し	田  ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<ul><li>・ 改</li><li>・ 改</li><li>事業者</li></ul>	り、進進を事業を表現している。	図と割は を を を の の の の の の の の の の の の の	東主と位 地位の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	状     価       5     6     レ       3     現状維持	野市内の はかる事 前 ⑦ ③ ・	済大生	特に 前   成果の方向性   事る市極   事る市極	助は動い 年 組 担 到 糸 々 一 継 は にに と は は し は し に し に し に し に し に し に し に し に	水表組織業事       大きの       施       大きの	1000000000000000000000000000000000000	っ福果 にを 常 未図 コの 加る	(進役) は (本)	「前 「「「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」	前年 <b>評主地</b> い。 を <b>評</b> 小投を 業	総 合 一 に に に に に に に に に に に に に	聖 野 t は 持 方 に い ら ら に に に に に に に に に に に に に	R	030210 事業所外 大 生が 等を積
С К ) 改革・改善の方向性(ACTION)	総合評価 今後の方向性 改革・改善策	労等に     前     成果の方向性     事る	を持ちめ 度細 拡 現 縮 休 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	Mの対象の表示を は、	<ul><li>・ 改</li><li>・ 改</li><li>事業者</li></ul>	り増せる	図と射は を ② ③ ④ 縮ト 厚 図 図 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<u>関連</u>	状     価       5     6     レ       3     現状維持	野市内の事 はかる事 前 ⑦ ⑨ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	済大生	特に 前   成果の方向性   事る市極   事る市極	<b>動の動い</b> 年 またい ( ) 「 ) に 大 ( ) を にには ( ) を にいる	水表組織業事       大きの       施       大きの	では   本   本   本   本   本   本   本   本   本	っ福果 にを 常 未図 コの 加る	(進役) は (本)	「前 「「「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」	前年 <b>評主地い</b> 後 評 投を業よ 度評 と位。 カー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	総 合 一 に に に に に に に に に に に に に	整 事 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	R	030210 事業所外 大 生が 等を積

事務	务事等	<b>業名</b>	季節的労務	者特.	別傷	手共活	事業								事業期間	平成		~		年度	整理番	号	04030	)340
担:	当 部	署	産業経済部			Ē	打工課	ļ .			工業党	的政係			作成担当	者名	小	亚		紀	連絡统	ŧ	43	3
								政	策	04	第4章	<b>社</b>	みやす	く、働	きやすく	、訪れ	てみた	とい緑	のま	ちづく	IJ			
	市	民	プランに		Th 4	策体	· z.	施	策	06	第6貫	ī 📜	用の確	保と人	すの育成									
	おり	ける	位置づけ		Щ .	來 14	・ホー	細 施	策	02	労働力	確保	と雇用	対策										
								事務事	事業		_													
計	予	算	事 業 名														コード							業 02
			·業の概要    かりゃすく)	合、通	その 用の	掛金範囲	の一 () ①!	部を助成 見に市内	求する 内に住	所を有	する	者でき	季節的含	持務者と	祉向上の	しよ	うとす	るもの	2	前年の	所得税	年額0	の合計	が
画					000円 :見込			<b>5</b> 百 (	少特万	な争日	か生	UT:1	<b>:</b> Ø)、:	自談牛度	の所得税	半額(	の音軒	観かり	2, 000	川に海	たなく	なる。		<b>'作</b>
			と 背 景うして)					明等を利	利用し	て短其	的に	本来(	の職業は	以外の職	業に従事	する	<b>芳務者</b> (	の福祉	L向上	,				
)	目	対	受益者	市内	に住	所を	有する	る農閑期	胡等を	利用し	た季節	節的党	<b>分務者</b>											
P	I	象	対象 (直接働きかける)					る農閑期			た季	節的的	<b>持務者</b>											
	的	(どん	意図な状態にしたいか)					<b>努者の</b> 権																
L				市内	引に住	所を	有する	る農業者	旨に対	けし、オ	野市	季節的	内労務	<b>5特別傷</b>	害共済加	1入掛金	全補助:	金交付	要綱	に基づ	き補助	金をす	を付す	′る。
A			・ 方 法 やって)																					
			行政活動の	結果:	からこ	つくり	リだす	ものは	何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・言	†算式	・目標	票値設	定の≉	きえ方な	ど 晶	<b>長終目</b>	標値
Ν	評	活動	補助金制度	の周	知					情報提	供回	数			J A ^	の情報	提供多	<b>ミ績</b>						2
	后 指	指標																						
	標の	1235																						
	作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	†算式	・目標	票値設	定の参	きえ方な	ど園	<b>長終目</b>	標値
	成	果指	季節的労務	者の	事業0	の活用	回数			補助金	交付	牛数		件										*
		標																						

		_	_	W 11			_ n +	平成28年度(予算	平成29年度
	項		目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	又は決算額)	事業計画(予算)
	事	214 30 3	(a)	円					
	財	国 庫 支 出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財		円					
	訳	一 般 財	源	円					
施	職	正規職	員	人					
	員 -	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人					
- N	対		数				-		
	延		(b)						
	単		(b)	円	_	_	_	_	_
況	受		額	円					
	市	5民一人当たりのコス		円	-		_	_	_
			目標		2	2	2	2	
	1	情報提供回数	実績		1	1	1	1	
(	活		達成率	%	50. 00	50. 00	50.00	50.00	_
	動		目標	_					
	動 指	_	実績						
D	標-		達成率	%	_	-	-	_	_
_	기자		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	_			_	_
0	<del>-1:</del>		目標	件	0	0	<u> </u>	ı	
	成	補助金交付件数	実績						
	果指		達成率	%	-	_	_	_	_
$\overline{}$	扫		目標	_					
	標:	_	実績達成率	0/					
		ツ里如口福斯法は 一个		%	トかいよみ部台にかい		_	_	_
	備	※最終目標数値は、この	争果に	- 聊 宋 a	まないため設定しない	<b>`</b> o			
	I/HI								
	考								

争 務 争			単経済		און נית	商コ				工業労	耐傷				· 末期间 成担当	_	小	<u>平</u>		紀	度 登理金 連絡分		43	
		8 4	*********			iei-	- 15.4			工来力			_	IF	1001E =	1-11-11	41.					ь	701	_
其	月				標						<b>9</b>	美 糸	責							課	題			
第 四 1 其	l																							
半 第 2 其 期	2																							
第 3 3 1	3																							
第 4 其	1									**		_	cre	ra-										
Ø N	止左	中門 4	144 4	467	ロ <b>よ</b> ミ 4.又 1	·B 1	<b>Δ</b> C.+_ I	- # I	≠_ 88 85 上	事	中の赤ル	. 1	平	価					_					
	∃千.	及用炉	11交、市	りひケ	カル栓:	心し、	材[/こ]	ニ土し	た問題点	( ) 「	の変化	今			3	Č			2		<b>⑤</b>	C	<i>I</i> )	
管												後			<b>状維</b> 持	寺			3		<b>6</b>	(	9	
												の	力	7 縮	,	<u>ا</u> ا			<b>4</b>		8	Œ	0	
		新组	主度の	実施計	┢画・−	予算要	求事:	項(改	革・改善	善策)		  -		]		F (	1)		<u></u>				······	
		業にお	ける利	用者は							いること	•			· 15€ 1			<b>`</b> -+	<b>د</b> ين	, I.	TD J I V 4/4 4	+ 1		_
か	161	7算は	計上す	<b>る</b> 。											/	,								大
												性		<u>/</u>				^	7	投ノ	( 0)	יו כ	a) 13	£
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)       方向       体廃止       ①         本事業における利用者は過去10年間利用がないが、周知は行っていることから予算は計上する。       当年度       当年度     (2)  (3)  (4)  (8)  (10)  (1)  (1)  (2)  (4)  (5)  (6)  (7)  (6)  (7)  (7)  (7)  (8)  (9)  (10)  (10)  (11)  (11)  (12)  (12)  (13)  (14)  (14)  (15)  (16)  (16)  (17)  (17)  (17)  (18)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)  (19)																							
	視	点		妥	当	,	生		有	効	性	ŧ			効	率	,	性		総	合 評	価	判	定
評	<del>'</del> 価(	の観点	1	2	3	4	判员	₹ 1	2	3	Ē	1	2	3	4	判別	Ē		С					
#II =		ック				V	3	L				2		レ				2						
価 。 。 。 。 。	<b>基</b>								周知してから、				ال ا	ていく	•				  -	記号 の 定義 前年度	計と事事の事討総両が業業見業が合い。というという。というでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは	方に 内容 が必要 な、休 判定	改善か ・実施 ・廃山	が必要 も主体
н			細	施	į	策		評	価	į	ij			細		施		策		評	価	:	後	
E	字   0	の福祉	向上を 部の共	支援す	るため	にも	事業の	継続は	い環境が 必要。し め事業の	<b>、かしな</b>	がら、	J 0	40	祉向上 一部の	と を 支持 大済が	援する II入対	ために 象者に	=も事 =限ら	業の れて	継続は	い環境から 必要。 した め事業の 要がある。	<b>多季節</b> かしな <b>効果</b> を	的労がら	, J
<b>→</b>	_	前年	度引	女 革	• 改	善策	€ の	実 施	状 況		_	i	前4	年度系	田施策	泛評值	15にま	うける	5 今	後のス	方向性_			_
改革	<del>}</del>		細	施	į	策		評	価	Ī	ij			細		施		策		評	価	:	後	
革後		成	拡	充			2		<b>⑤</b>	Q	)		成	拡	<b>.</b> \$	Ž.					_		_	
改		果の	現状	維持			3		6	9	)		果の	現	状維持	ŧ								
		方	縮	小			4	レ	8	1	)		方	縮	· /	١					レ			
の方向		向 性	休 廃		1								向性		、廃 』	 -								
		_	11. 151	_	皆	減	縮	小	現状維	‡持 ‡	広 :	<del>_</del>	_	PT			皆	減	縮	小	現状維持	<b>寺</b> :	拡	大
	ŧ				J	コッス					性		_						ا ا		しの方		性	, ,
ACTION)	~	事業の	効果を	JAŁ	協議す	<b>る</b> 。						d a	要と	がある							続を含め ⁻ いため、:			
最終言	- I														新工課·						上 田		<b>1</b>	

± 444 Hn 0